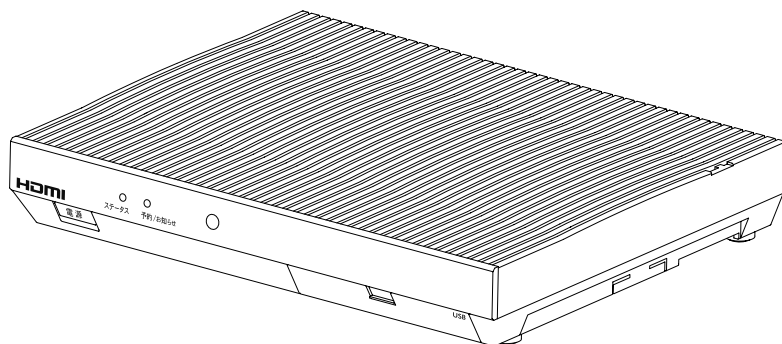
Picture Mate 700

取扱説明書

このたびは、Picture Mate 700 をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

ご使用にあたってのお願い

本商品は著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、ロヴィ社の許可が必要で、また、ロヴィ社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本商品は、一般財団法人 VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

【返却などされる場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却などされる際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

・本商品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

・Ethernet® は米国 XEROX 社の登録商標です。

・HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。

・本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

・その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

・® マークおよび™表記については本文中に明記しません。

- 本書はPicture Mate 700の設置方法や操作方法について説明しています。
ご利用されるサービス内容や、設定内容についてはご契約の映像配信サービス会社が提供する取扱説明書などをご参照ください。
- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品(本書、ソフトウェアを含む)は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。
This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品(ソフトウェア含む)は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は、同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた障害や、万一、本商品に登録された情報内容や本商品に接続したUSBハードディスクなどの記憶装置に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失が起きたとしても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本商品に登録された情報内容は別にメモをとるなどして保管してください。
- 映像配信サービスをご利用いただくには、以下のいずれかのサービスのご契約と、映像配信サービス会社が提供する映像配信サービスのご契約が必要となります。

NTT東日本エリアのお客様：「フレッツ 光ネクスト」
「Ｂフレッツ」

NTT西日本エリアのお客様：「フレッツ 光ネクスト」
「フレッツ・光プレミアム」
「Ｂフレッツおよびフレッツ・v6アプリ」

- 本書掲載の図・画面はイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合は、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。
- 本書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。

本書中のマーク説明

マーク	表示	説明
⚠	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
	お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

使用上のご注意

⚠ 警告

- 本商品の内部に、異物を混入しないでください。開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり異物を入れると、ショートや発火の原因となることがあります。
- 不安定な場所に配置しないでください。傾いた場所や狭い場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となることがあります。
- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください。タコ足配線は発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ちたりし、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- 濡れた手で触れないでください。 また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードを電源コンセントに抜き差しするときは、ACアダプタのコードを持たずにACアダプタのプラグを持って抜き差ししてください。そのとき、ACアダプタのプラグにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となることがあります。
- ACアダプタは、必ず付属のものを使用してください。それ以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 付属のACアダプタを、本商品以外に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 半年から1年に1回はACアダプタのコードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。プラグにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントからプラグを抜いて点検、清掃を行ってください。プラグ部分にほこりがたまって、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードや接続ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなど、しないでください。また、重いものをのせる、踏みつける、挟みこむ、薬品類をかけるなど、しないでください。ACアダプタのコードやケーブルが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- 使用する電圧を間違えないでください。定められた電源電圧以外では使用しないでください。感電、発火の原因となることがあります。
- 異常な熱・煙・音・臭いがする場合は、すぐに使用を中止し、ACアダプタのコードを抜いてください。そのまま使用すると、感電、発火の原因となることがあります。
- キャビネットを開けて、分解、修理、改造をしないでください。修理技術者以外の人は、本商品の分解、修理、改造を行わないでください。感電、やけど、発火の原因となることがあります。また、キャビネットを開けた場合は、保証の対象外となります。
- 電池をショートさせないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電池を火に投下しないでください。破裂、発火の原因となることがあります。
- 電池を濡らさないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電池内部の液体が皮膚や目に入ったときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。失明や傷害の原因となることがあります。
- 電池を火のそばやストーブのそばなど高熱の場所での使用、放置をしないでください。
  漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。
- 製品には小さな部品が含まれています。
  お子様が飲み込んだりしないようにしてください。

使用上のご注意

⚠ 注意

● 通気孔をふさがないでください。冷却効果が低下して内部の温度が上昇し、装置の故障、キャビネットの変形、発火の原因となることがあります。
● 湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。感電の原因となることがあります。
● 温度差の大きい場所へ移動した場合は、すぐには使用しないでください。本商品を寒い所から急に暖かい所に移動させたときは、本商品内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し、完全に自然乾燥させてから電源を入れてください。
● 火気に近づけないでください。キャビネットの変形によるショート、発火や装置温度の上昇による装置破壊の原因となることがあります。
● 使用中にACアダプタのコードを外さないでください。また、ACアダプタのコードに足など引っ掛けないでください。使用中にACアダプタのコードが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。
● 近くで雷が発生したときは、ACアダプタのコードを電源コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。近くで雷が落ちた場合は、火災・感電の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、ACアダプタのコードを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となることがあります。
● リモコンに電池を入れるときは、電池の+、-を間違わないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 異なった種類の電池、または使用済み電池と未使用電池の混用はしないでください。液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、液漏れ防止のため、リモコンから電池を抜いてください。
● リモコンを保管する際、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
● テレビの画面に近づきすぎたり、長時間の視聴を行わないでください。視力の低下につながる恐れがあります。
● 映像は、部屋を明るくして視聴してください。暗所で視聴すると、視力の低下につながる恐れがあります。また、てんかんなどを引き起こす恐れがあります。
● 電池を一般のゴミとして廃棄しないでください。 お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。

設置するときのご注意

注意

- 本商品の前後左右3cm、上3cmに、壁やものがない場所に設置してください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障や変形の原因となることがあります。
- 上に物をのせないでください。変形、破損することがあります。また、換気が悪くなり、本商品内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で、結露しない場所に設置してください。温度や湿度がこの範囲を超えると、故障の原因となることがあります。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
- 水や油などの液体や湯気のかかる場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- ほこりや小さな金属片の多い場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 衝撃のかかる場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 接続しているケーブル類を踏まないような場所に設置してください。ケーブルを踏むと、感電や故障の原因となることがあります。
- 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。本商品内部の温度が上がり、本体の変形、故障、発火の原因となることがあります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

お願い

- 本商品をお手入れする際は、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
- 本商品に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因となることがあります。

目 次

ご使用にあたってのお願い.. 1
安全にお使いいいただくためにに必ずお読みください........................ 3
目 次 7
Picture Mate 700 の特長................................. 10
録画に関するご注意...................................... 11
お客様情報に関するご注意.................................. 14

1 お使いになる前に..15

1-1 パッケージの内容の確認................................ 15
1-2 各部の名称と機能...................................... 16
1-2-1 前 面... 16
1-2-2 背 面... 18
1-3 操作の流れ.. 19
1-4 本商品の設置... 20
1-4-1 横置きで設置....................................... 20
1-4-2 縦置きで設置....................................... 21
1-5 本商品の接続... 23
1-5-1 全体構成.. 24
1-5-2 接続手順.. 26
1-5-3 USB ハードディスクの接続手順........................... 35
1-6 主電源を入れる....................................... 38

2 リモコン..40

2-1 電池の挿入... 40
2-2 リモコンの送信範囲.................................... 41
2-3 リモコンの操作方法.................................... 42
2-3-1 サービス画面を操作する................................ 46
2-3-2 地上デジタル放送/BS デジタル放送を見る................... 48
2-3-3 テレビサービスを見る.................................. 50
2-3-4 ビデオサービスを見る.................................. 52
2-3-5 カラオケサービスを見る................................ 54
2-3-6 録画する/録画番組を再生する............................ 56
2-3-7 接続したテレビを操作する............................... 58

3 映像配信サービスご利用の準備 62

3-1 初期設定 62

3-2 地上デジタル放送/BS デジタル放送の設定 68

4 本商品の設定 74

4-1 [設定]画面の概要 74

4-1-1 共通操作 76

4-2 メニュー一覧 77

4-3 映像・音声設定 80

4-3-1 音声字幕設定 81

4-3-2 デジタル音声出力設定 82

4-3-3 操作確認音設定 83

4-4 地デジ・BS 設定 84

4-4-1 地域設定 85

4-4-2 県域設定 86

4-4-3 郵便番号設定 87

4-4-4 地デジのチャンネル設定 88

4-4-5 ネットワーク設定 89

4-4-6 文字スーパー 90

4-5 録画設定 91

4-5-1 USB ハードディスク接続設定 93

4-5-2 USB ハードディスク取り外し 94

4-5-3 USB ハードディスクフォーマット 95

4-5-4 USB ハードディスク省電力設定 96

4-6 視聴・購入制限 97

4-6-1 シークレットモード暗証番号 98

4-6-2 シークレットモード表示設定 99

4-6-3 購入制限暗証番号設定 100

4-7 管理設定 101

4-7-1 回線登録情報変更 102

4-7-2 初期化 103

4-7-3 再起動 104

4-8 システム情報 105

4-9 USB HDD 情報 106

4-10 リモート設定 108
4-10-1 リモート接続設定 109
4-10-2 リモート接続確認・解除 110
4-10-3 リモート予約同期設定 111
4-10-4 りもこんプラス機能設定 112

5 付 録 113

5-1 故障かなと思ったら 113
5-2 ファームウェア更新について 117
5-3 本商品を初期化する 118
5-4 仕様一覧 120
5-5 用語集 122
5-6 索 引 125

Picture Mate 700の特長

●多彩な映像配信サービス

テレビサービスやビデオサービス・カラオケサービスに加え、地上デジタル放送、BSデジタル放送をご利用いただけます。

また、お子様が誤って年齢制限のある映像を見ることを防ぐための、シークレットモード機能を搭載しています。

●映像配信サービスの番組録画が可能

本商品にUSBハードディスクを接続することで、以下の番組を録画できます。

- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BSデジタル放送

●フルハイビジョンの映像に対応

最新の動画圧縮技術であるH.264/MPEG-2ハードウェアデコーダを搭載し、フルハイビジョンに対応したテレビと接続することにより、大画面で迫力のある高精細な映像をお楽しみいただけます。

●高品質で安定した映像

パケット欠損回復機能(FEC)により、画像や音声が途中で途切れたり止まったりしない安定したハイビジョン映像を楽しむことができます。

●映像配信の回線として、光回線を利用

アンテナ工事などの必要がなく、簡単に本商品を接続して、映像配信サービスを楽しむことができます。

録画に関するご注意

● 本商品はお客様が映像を楽しむことを目的とした商品です。本商品に接続したUSBハードディスク以外への録画方法や録画時のトラブルについては、当社サービスのサポート外となりますので、ご了承ください。

● 本商品で録画・録音したものは、著作権法上、個人または家庭内などで楽しむ以外には、権利者に無断で使用できません。なお、著作権法違反に基づく民事および刑事上の責任に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。

- 録画禁止の番組
- ビデオサービス（NHKオンデマンドを含む）
- カラオケサービス
- 映像配信サービス会社が録画禁止と指定するもの

また、USBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクや、DVDなどのメディアにコピー/移動することはできません。

● 本商品でご利用いただけるUSBハードディスクは、当社、あるいは映像配信サービス会社が動作確認を行った、USB2.0規格に対応したACアダプタ給電タイプのUSBハードディスクです。
動作確認済みのUSBハードディスクについては、本書の裏表紙に記載されている当社のホームページ、あるいは映像配信サービス会社にお問い合わせください。
動作確認済みのUSBハードディスクについては、同一メーカー、同一型番であっても動作を保証するものではありません。万一、動作確認済みのUSBハードディスクを利用できなかった場合でも、USBハードディスクの交換、買い取りなどには応じられませんのでご注意ください。

● 当社、あるいは映像配信サービス会社が動作確認を行ったUSBハードディスクを利用して録画できなかった場合、USBハードディスク内部のデータが削除された場合、USBハードディスクが壊れた場合、およびその他USBハードディスクに係るいかなる問題が発生した場合でも、当社及び映像配信サービス会社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 本商品に USB ハードディスクを接続してご利用される場合は、初めに本商品にてフォーマットする必要があります。
フォーマットを実行すると、USB ハードディスクに保存されているデータはすべて消去されるため、必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
なお、本商品で USB ハードディスクに録画した番組を別の USB ハードディスクや DVD などのメディアにコピー/移動することはできません。

● USB ハードディスクがパソコンなど他の機器でご利用いただけない状態の場合は、本商品を用いてフォーマットを実行できないことがあります。

● 本商品に USB ハードディスクを接続し、フォーマットを実行する場合は、本商品が認識した USB ハードディスクの最大領域がフォーマットされます。

● 本商品でフォーマットを実行した USB ハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器に接続した場合は、録画した番組が再生できなくなる可能性があります。また、録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器で利用した場合は、利用後は、録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。

● USB ハードディスクを 2 台以上同時に本商品に接続することはできません。

● USB-HUB などを経由して本商品と USB ハードディスクを接続しないでください。
USB ハードディスクの故障などにつながる恐れがあります。

● 本商品の故障などにより本体を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

● 本商品では、容量が 2TB を超える USB ハードディスクはご利用できません。

● 本商品では、暗号化機能、および、認証機能を有した USB ハードディスクはご利用いただけません。また、USB ハードディスク自体が有している省電力機能はご利用いただけません。これらの機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。

- 本商品では、RAID機能を有したUSBハードディスクはご利用できません。
  また、機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。
- 大切な番組を録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。
- 録画中、録画した番組の再生中、または録画予約中に、停電、もしくはACアダプタを電源コンセントから抜くなどにより、本体への通電が断たれると、USBハードディスクに録画した番組が損なわれることがあります。
- 停電などにより、本体への通電が断たれたため生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

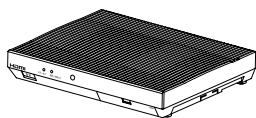
お客様情報に関するご注意

● 本商品は、お客様固有のデータを登録、または保持する商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがあります。データの管理には十分お気をつけください。

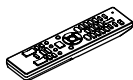
● 本商品を返却などされる際には、本商品のデータは必ず消去してください。
本商品の初期化は、本書に記載された手順に従って実行してください。
(☞ p. 118)

1　お使いになる前に

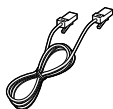
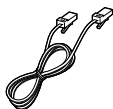
1-1 パッケージの内容の確認

本商品には、本体および付属品が入っています。まず、これらがすべて揃っているかどうかご確認ください。
万一、足りないものや、取扱説明書に乱丁・落丁がありましたら、裏表紙に記載の当社ホームページへご連絡ください。

Picture Mate 700
本体 1台

縦置き台　1個

AC アダプタ　1対

リモコン　1個

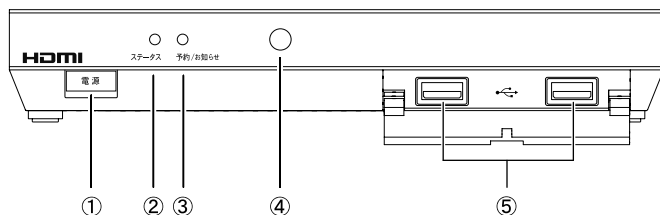
リモコン用単3形電池　2個

AVケーブル　1対

LANケーブル
（丸型 1m）　1本

LANケーブル
（フラット型 10m）　1本

HDMI端子ケーブル
1本

取扱説明書（本書）　1冊

1-2 各部の名称と機能

1-2-1 前 面

名称	機能説明
① 電源スイッチ	主電源を入/切します。
② ステータス ランプ	本商品の状態を表示します。(☞ p.17)
③ 予約/お知らせ ランプ	本商品の状態を表示します。(☞ p.17)
④ リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。 リモコンからの赤外線をさえぎらないように注意してください。リモコンによる操作が正常に行えない可能性があります。
⑤ USBポート	カバー内部に用意されています。 本商品に対応したUSB機器を接続します。(☞ p.35)

STOP お願い

本商品に対応した USB 機器以外は、接続しないでください。

ステータスランプ/予約/お知らせランプ

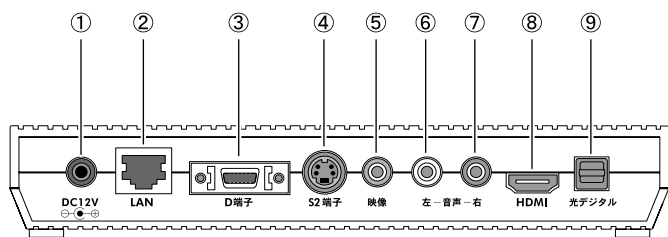
名称	ランプの表示		機能説明
ステータスランプ	緑色	点灯	通常状態です。
		点滅	ファームウェア更新中です。
	青色	点灯	映像の視聴中です。
	白色	点灯	初期化中です。 (予約/お知らせランプも白が点灯します)
	赤色	点灯	スタンバイ状態です。
		点滅	ファームウェア更新中です。
	橙色	点滅	フラッシュメモリに書き込み中です。
	桃色	点滅	予約/お知らせランプが消灯している場合は、通信エラーです。 映像配信サービス会社へお問い合わせください。 予約/お知らせランプ(桃色点滅)と交互に点滅している場合は、機器故障が発生しています。 映像配信サービス会社へお問い合わせください。
予約/お知らせランプ	ー	消灯	予約、お知らせはありません。
	青色	点灯	予約があります。
	緑色	点灯	お知らせがあります。 予約がある場合でも、お知らせの通知が優先されます。
	桃色	点滅	機器故障が発生しています。 映像配信サービス会社へお問い合わせください。

お願い

ステータスランプが点滅(緑/赤/橙色)しているときは主電源を切らないでください。

お知らせ

予約/お知らせランプは、予約とお知らせの両方がある場合は、緑色点灯となります。

1-2-2 背 面

名 称	表 示	機能説明
① 電源端子	DC12V	付属のACアダプタを接続します。
② ネットワーク接続ポート	LAN	ネットワーク接続機器(ひかり電話ルーター、またはひかり電話対応機器など)と本商品を、付属のLANケーブルで接続します。
③ D出力端子	D端子	映像信号を出力します。 D入力端子(D3規格に適応)を持つテレビと本商品を、市販のD端子ケーブルで接続します。
④ Sビデオ出力端子	S2端子	映像信号を出力します。 Sビデオ入力端子を持つテレビと本商品を、市販のS端子ビデオケーブルで接続します。
⑤ 映像出力端子	映像(黄色)	映像信号を出力します。 コンポジット入力端子を持つテレビと本商品を、付属のAVケーブルで接続します。
⑥ ステレオ音声出力端子(左)	音声-左(白色)	ステレオ音声信号(左-アナログ)を出力します。 音声入力端子を持つテレビと本商品を、付属のAVケーブルで接続します。
⑦ ステレオ音声出力端子(右)	音声-右(赤色)	ステレオ音声信号(右-アナログ)を出力します。 音声入力端子を持つテレビと本商品を、付属のAVケーブルで接続します。
⑧ HDMI出力端子	HDMI	映像/音声信号を出力します。 HDMI入力端子を持つテレビと本商品を、付属のHDMI端子ケーブルで接続します。
⑨ 光デジタル音声出力端子	光デジタル	音声信号(デジタル)を出力します。 光デジタル音声入力端子を持つ機器と本商品を、市販の光デジタル端子ケーブル(角型端子)で接続します。

お知らせ

本商品に接続できるネットワーク接続機器については、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

1-3 操作の流れ

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。

付属品を確認する

「1-1 パッケージの内容の確認」（p. 15）

本商品と各機器を接続する

「1-4 本商品の設置」（p. 20）

「1-5 本商品の接続」（p. 23）

電源を入れる

「1-6 主電源を入れる」（p. 38）

リモコンを準備する

「2 リモコン」（p. 40）

はじめて電源を入れる

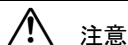
「3 映像配信サービスご利用の準備」（p. 62）

本商品を設定する

「4 本商品の設定」（p. 74）

1-4 本商品の設置

本商品は、横置きおよび縦置きに対応しています。
お客様の環境に合わせて、設置してください。

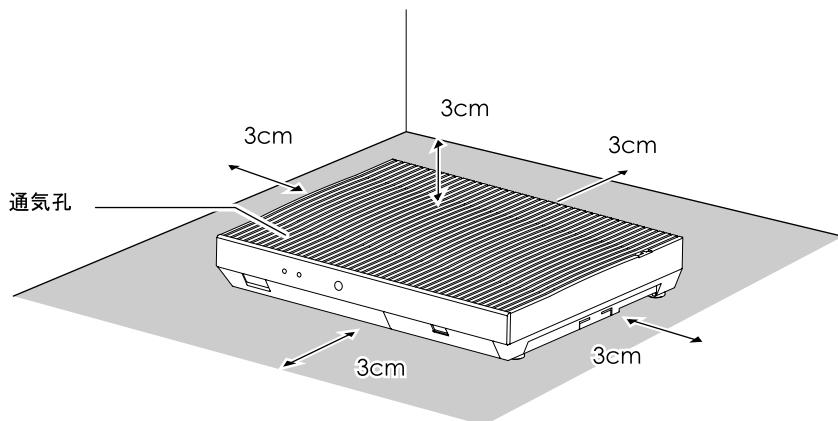
⚠ 注意

通気孔をふさがないでください。冷却効果が低下して内部の温度が上昇し、装置の故障、周辺家具の変形・変色、発火の原因となることがあります。

お願い

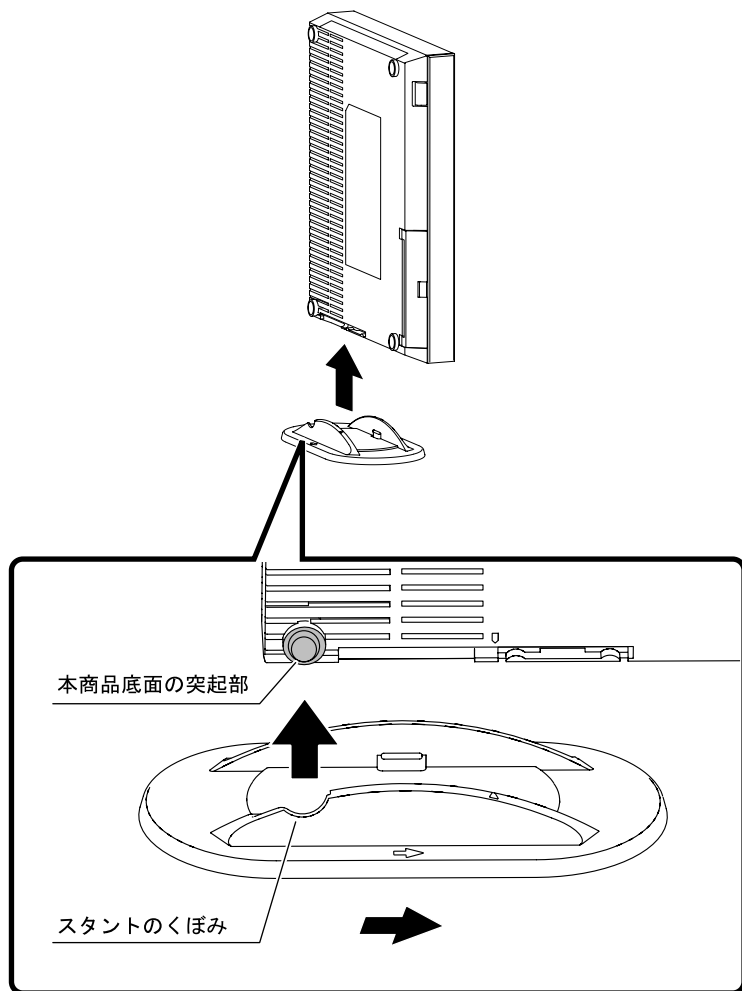
- 本商品をテレビチューナ、DVDプレーヤ、ハードディスクレコーダ、ゲーム機、パソコンなどの発熱する機器の上には設置しないでください。
  故障や発火の原因となることがあります。
- 本商品を横置きに設置すると、本商品下部が熱くなることがあります。
  本商品の下部やその下の台をさわらないように注意してください。
  本商品下部の温度上昇を防止されたいお客様は、本商品を縦置きに設置されることをお勧めします。
- 本商品の上にUSBハードディスクなどの物を置かないでください。

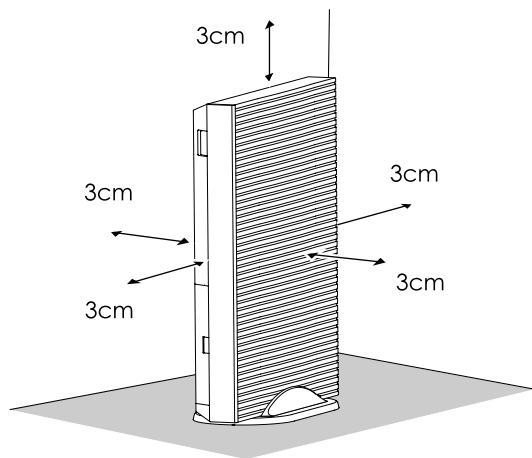
1-4-1 横置きで設置

1 通気孔が上になるようにして、安定した水平な所に横置きで設置します。

本商品の設置面以外は3cm以上の空間を作るようにしてください。

1-4-2 縦置きで設置

1 付属の縦置き台を、本商品側面に取り付けます。

スタンドのくぼみと、本商品底面の突起部を合わせるように取り付け、前面にスライドさせます。
電源端子が下にくるように設置してください。

2 安定した水平な場所に設置します。

本商品の設置面以外は3cm以上の空間を作るようにしてください。

1-5 本商品の接続

本商品と各周辺機器を接続します。
周辺機器との接続は、ご利用されるサービスにより異なります。

サービス	参 照
フレッツ 光ネクスト、Bフレッツ (NTT 東日本エリア、NTT 西日本エリア)	p.24
フレッツ・光プレミアム (NTT 西日本エリア)	p.25

お願い

接続時には各ケーブルのコネクタ部の向きに注意してください。
無理に接続しようとすると破損する恐れがあります。

また、本商品に USB ハードディスクを接続することで、以下の番組を録画できます。(☞ p.25、35、91)

- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送

お願い

USBハードディスクは、「3 映像配信サービスご利用の準備」(☞ p.62)が終了してから接続してください。

お知らせ

本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。

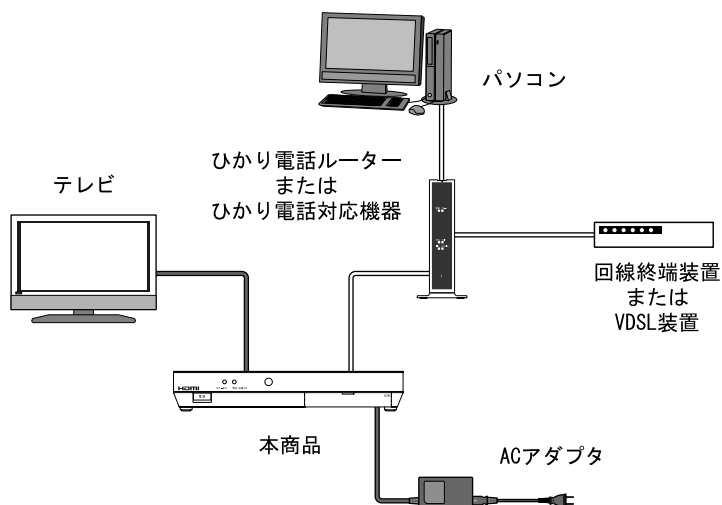
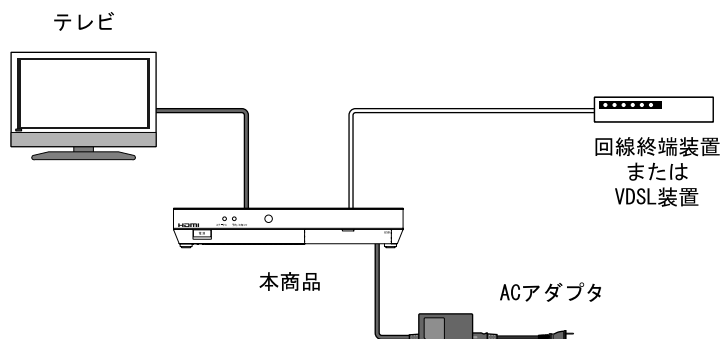
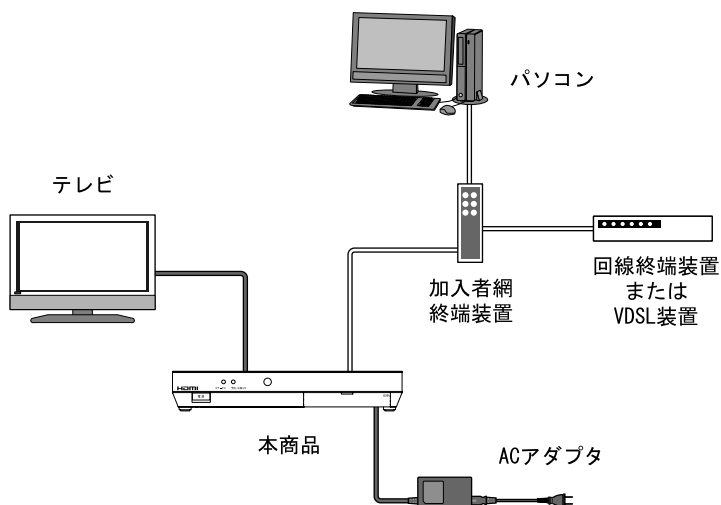
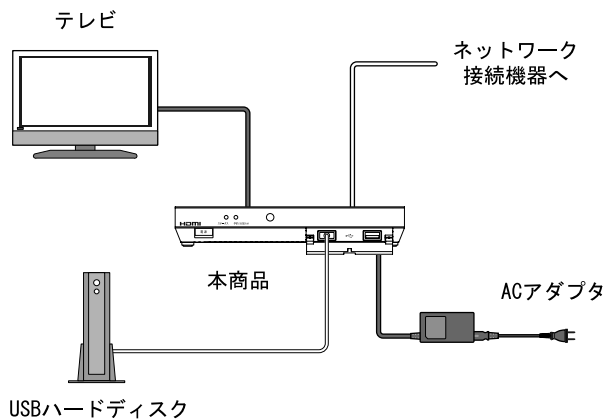
- 録画禁止の番組
- ビデオサービス(NHK オンデマンドを含む)
- カラオケサービス
- 映像配信サービス会社が録画禁止と指定するもの

また、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクや、DVDなどのメディアにコピー/移動することはできません。

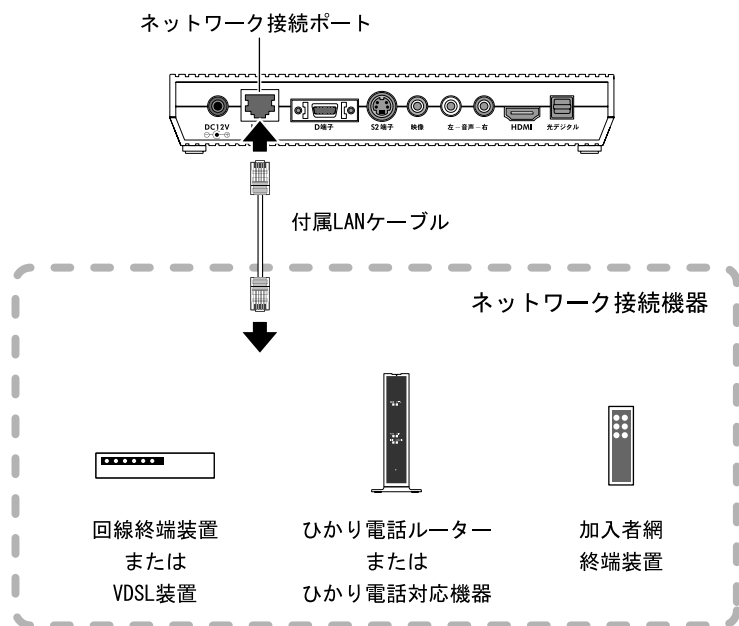
1-5-1 全体構成

ここでは全体構成について説明をします。
各機器の接続方法については「1-5-2 接続手順」(☞ p.26)および、各周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

フレッツ 光ネクスト、Bフレッツご利用の場合

●配線パターン1

●配線パターン2

フレッツ・光プレミアムご利用の場合

USB ハードディスクご利用の場合

1-5-2 接続手順

1 本商品のネットワーク接続ポートとネットワーク接続機器を、付属LAN ケーブルで接続します。

付属 LAN ケーブルは、ご使用の環境に合わせ、1m または 10m をご利用ください。

お知らせ

- ネットワーク接続機器は、ご利用になるサービスや地域によって異なります。ご利用のサービス内容を確認してネットワーク接続機器に接続してください。
- 本商品に接続できるネットワーク接続機器については、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

2 本商品の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続します。

ご利用の形態に応じて映像ケーブルを接続してください。

- 付属 HDMI 端子ケーブルによる接続(☞ p.28)
- 付属 AV ケーブルによる接続(☞ p.29)
- S 端子ビデオケーブルによる接続(☞ p.30)
- D 端子ケーブルによる接続(☞ p.31)

お願い

本商品を、ビデオデッキなどを経由してテレビに接続して、コピーガード仕様の放送やビデオコンテンツを視聴すると、映像が乱れることがあります。
その場合は、本商品の映像・音声の出力を直接テレビに接続してください。
コピーガード仕様の番組およびビデオコンテンツは著作権保護のために「視聴すること」のみ許諾されており、著作権者による文章に明示された許諾がない限り、複製およびその複製物の再生はできません。

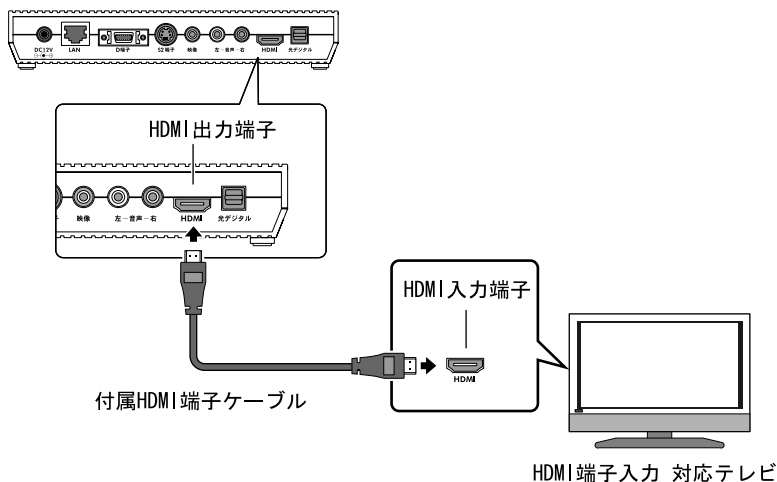
お知らせ

・ハイビジョン映像を楽しむには、ハイビジョン対応テレビと接続する必要があります。
・ハイビジョン映像を楽しむには、HDMI端子ケーブル、またはD端子ケーブルで接続してください。

付属HDMI端子ケーブルによる接続

付属の HDMI 端子ケーブルを使い、HDMI 端子入力対応のテレビと接続してください。

お知らせ

HDMI端子ケーブルは映像データと音声データを同時に出力できます。
別途音声接続をする必要はありません。

お願い

・HDMI端子ケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、HDMI出力端子が破損する恐れがあります。

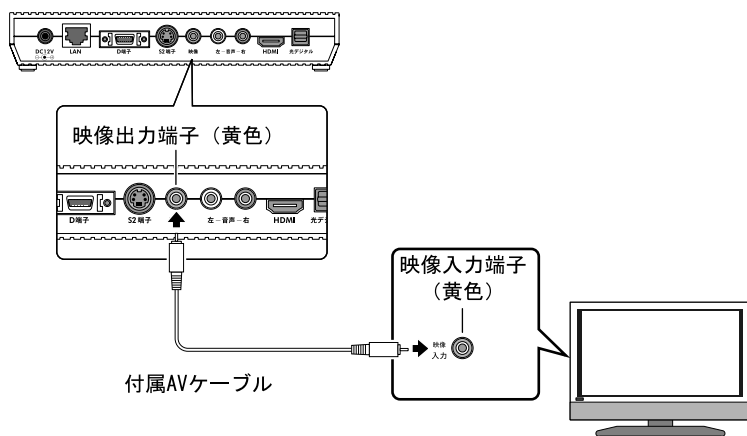
・主電源を入れた状態でHDMI端子ケーブルを抜き差ししないでください。

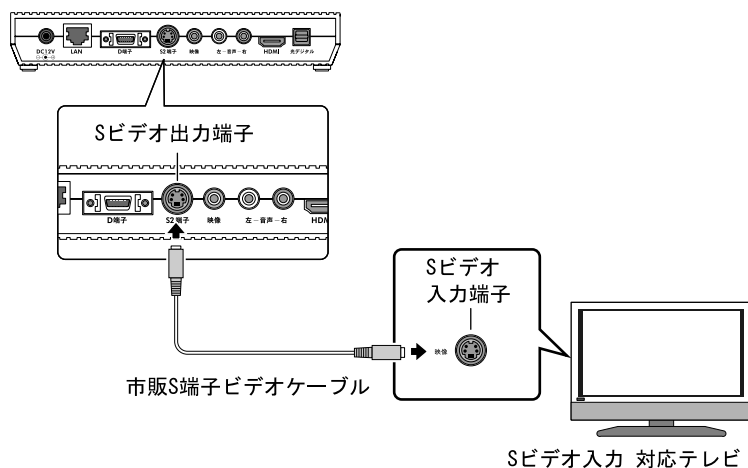
・テレビの電源を入れたあとに本商品の主電源を入れてください。
先に本商品の主電源を入れると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

お知らせ

本商品のHDMI出力端子は、テレビなどのHDMI入力端子と接続できます。
DVIデジタル入力端子と接続したときは、正常な映像が表示されない、または、映像自体が映らない場合があります。

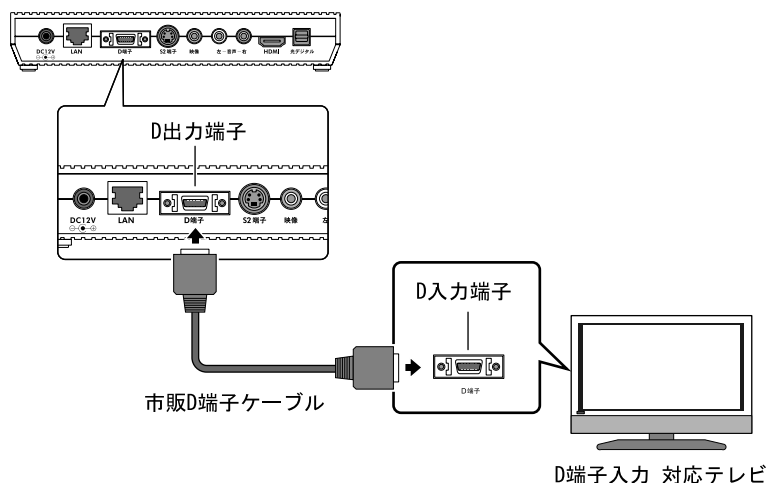
付属 AV ケーブルによる接続

付属の AV ケーブルの端子色と、本商品およびテレビの端子色を合わせて接続してください。

S 端子ビデオケーブルによる接続

市販の S 端子ビデオケーブルを使い、S ビデオ入力対応のテレビと接続してください。

お願い

S端子ビデオケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、Sビデオ出力端子が破損する恐れがあります。

D 端子ケーブルによる接続

市販の D 端子ケーブルを使い、D 端子入力対応(D3 規格に適応)のテレビと接続してください。

STOP お願い

D端子ケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、D出力端子が破損する恐れがあります。

3 本商品の音声出力端子とテレビの音声入力端子を接続します。

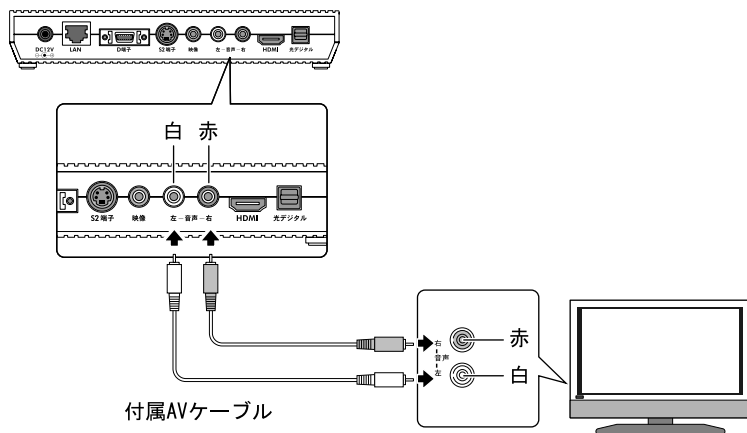
ご利用の形態に応じて音声ケーブルを接続してください。

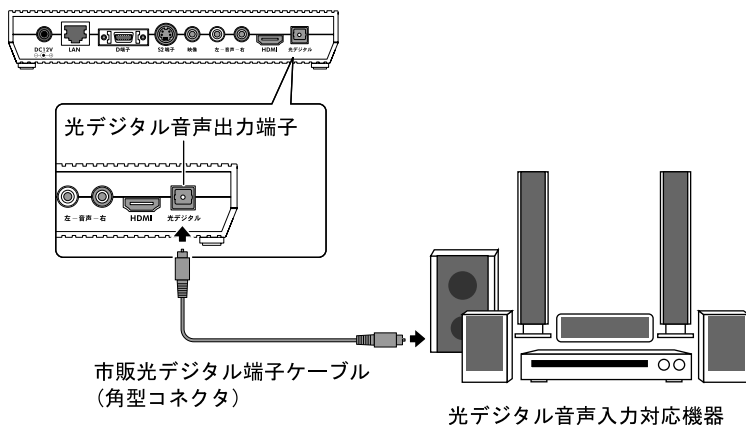
- 付属 AV ケーブルによる接続(☞ p.32)
- 光デジタル端子ケーブルによる接続(☞ p.33)

お知らせ

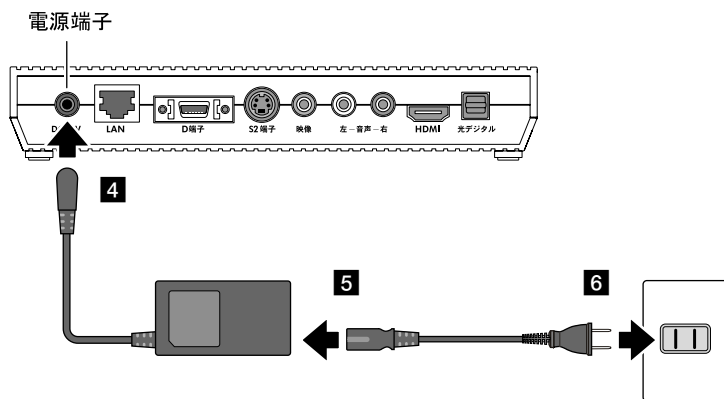
HDMI端子ケーブルをご使用される場合は、この手順は必要ありません。

付属 AV ケーブルによる接続

付属の AV ケーブルの端子色と、本商品およびテレビの端子色を合わせて接続してください。

光デジタル端子ケーブルによる接続

市販の光デジタル端子ケーブル(角型コネクタ)で、本商品と光デジタル音声入力対応機器を接続してください。

お願い

光デジタル端子ケーブルの接続方向には向きがあります。
誤った向きのまま無理に接続しようとすると、光デジタル音声出力端子が破損する恐れがあります。

4 本商品の電源端子に、AC アダプタのプラグを接続します。

5 AC アダプタ本体に、AC アダプタのコードを接続します。

6 AC アダプタのコードを、電源コンセントに接続します。

1-5-3 USB ハードディスクの接続手順

本商品に USB ハードディスクを接続することで、以下の番組を録画できます。(☞ p. 91)

- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送

お知らせ

・本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。
  - 録画禁止の番組
  - ビデオサービス（NHK オンデマンドを含む）
  - カラオケサービス
  - 映像配信サービス会社が録画禁止と指定するもの

また、USBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクや、DVDなどのメディアにコピー/移動することはできません。

・本商品にてUSBハードディスクをご利用になるには、初めにご利用のPM-700(本商品)にてフォーマットする必要があります。(☞ p. 95)

お願い

・USBハードディスクは「3 映像配信サービスご利用の準備」(☞ p. 62)が終了してから接続してください。

・本商品に初めてUSBハードディスクを接続した場合は、必ず「USBハードディスク接続設定」(☞ p. 93)を操作してフォーマットと認証を行ってください。

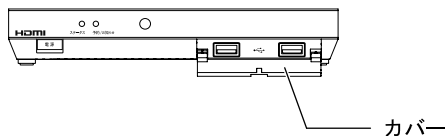
・USBハードディスクを本商品に接続してフォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。

・USBハードディスクを取り外すときは、本商品の主電源を切ってから取り外すか、[USBハードディスク取り外し]画面から取り外してください。(☞ p. 94)

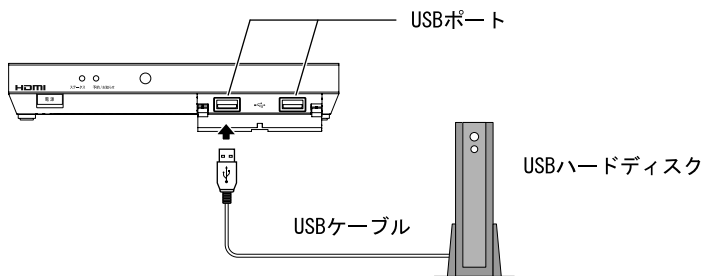
・本商品がUSBハードディスクへアクセス中は、USBハードディスクを取り外したり、USBハードディスクや本商品の主電源を切らないでください。

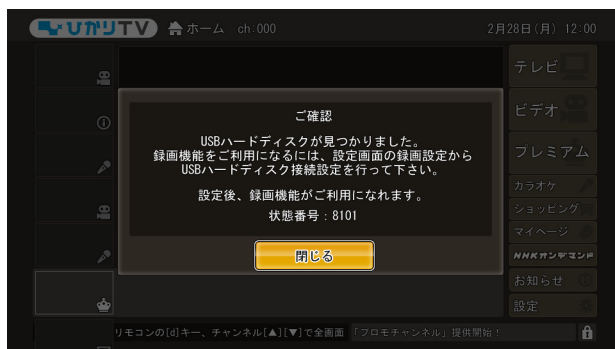
・本商品でフォーマットしたUSBハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。

1. 本商品の主電源を切ります。

2. 前面のカバーを開きます。

3. 本商品の2つあるUSBポートのどちらかにUSBケーブルを接続します。

お願い

- USBケーブルの接続方向には向きがあります。誤った向きのまま無理に接続しようとすると、USB端子が破損する恐れがあります。
- USB-HUBなどを経由して本商品とUSBハードディスクを接続しないでください。
- USBハードディスクを2台以上同時に接続することはできません。

4 **本商品の主電源を入れます。**

[USB ハードディスク接続メッセージ]が表示されます。

お知らせ

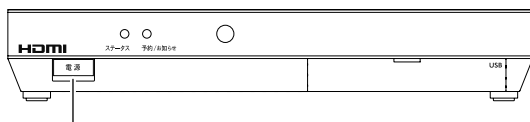
[USBハードディスク接続メッセージ]は、本商品で認証を実行していないUSBハードディスクを接続したときに表示されます。

「USBハードディスク接続設定」(p. 93)を操作してください。

1-6 主電源を入れる

本商品が正しく接続されているか確認したあと、 本商品の主電源を入れます。

1 前面にある電源スイッチを押して、主電源を入れます。

本商品に主電源が入り、自動的にファームウェア更新の確認が始まります。(☞ p. 117)

電源スイッチ

お知らせ

ファームウェア更新中には、本商品の状態に応じてステータスランプが点滅(緑/赤/橙色)します。
ファームウェア更新は数分かかる場合があります。

⚠ 注意
ステータスランプが点滅状態(緑/赤/橙色)のときには、主電源を切らないでください。本商品が正常に起動しなくなる恐れがあります。

STOP お願い

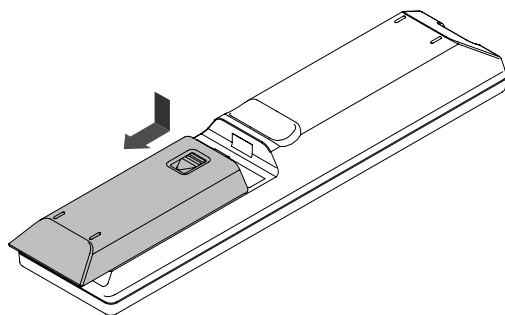
本商品が正常に動作しない場合は、「5-1 故障かなと思ったら」(☞ p. 113)で故障の内容を確認してください。
それでも解決できないときは、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

2 リモコン

ここではリモコンの操作方法を説明します。

2-1 電池の挿入

リモコンに電池を挿入し、使用できるようにします。

1 リモコン背面の電池カバーを外します。

2 付属の電池を挿入します。

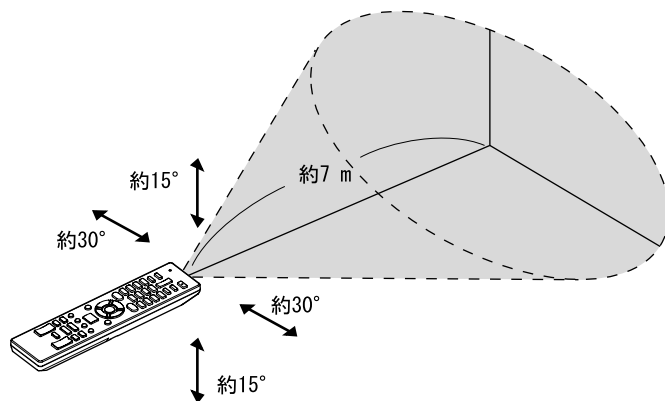
 お願い

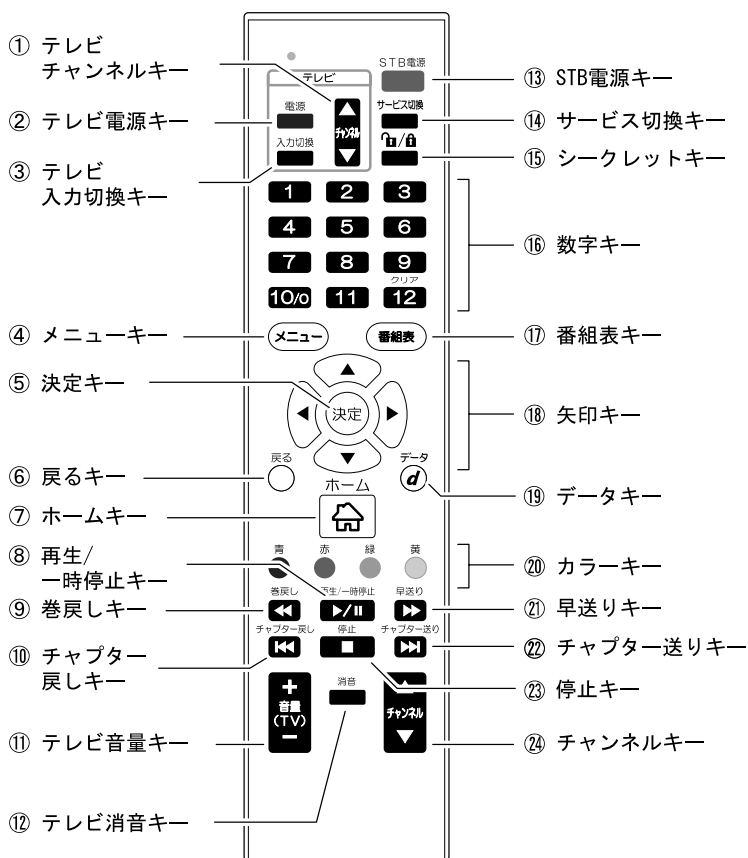
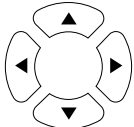
- 電池収納部のイラストを参考にして、プラス(+)、マイナス(−)の向きを正しく差し込んでください。
- 電池を交換する際には、古い電池と混合せずに2本とも交換してください。また、異なる種類の電池を混用しないでください。

3 電池カバーを取り付けます。

2-2 リモコンの送信範囲

リモコンから送信される赤外線信号の送信範囲は次のとおりです。
この範囲内にてご使用ください。

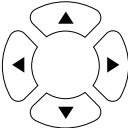
距離：約 7m
角度：上下 約 15° 以内、左右 約 30° 以内

2-3 リモコンの操作方法

リモコンは、画面の状態によって操作方法が異なります。
キーの名称は次のとおりです。

各キーの機能は以下のページをご参照ください。

- サービス画面を操作する　☞ p. 46
- 地上デジタル放送/BS デジタル放送を見る　☞ p. 48
- テレビサービスを見る　☞ p. 50
- ビデオサービスを見る　☞ p. 52
- カラオケサービスを見る　☞ p. 54
- 録画する/録画番組を再生する　☞ p. 56
- 接続したテレビを操作する　☞ p. 58

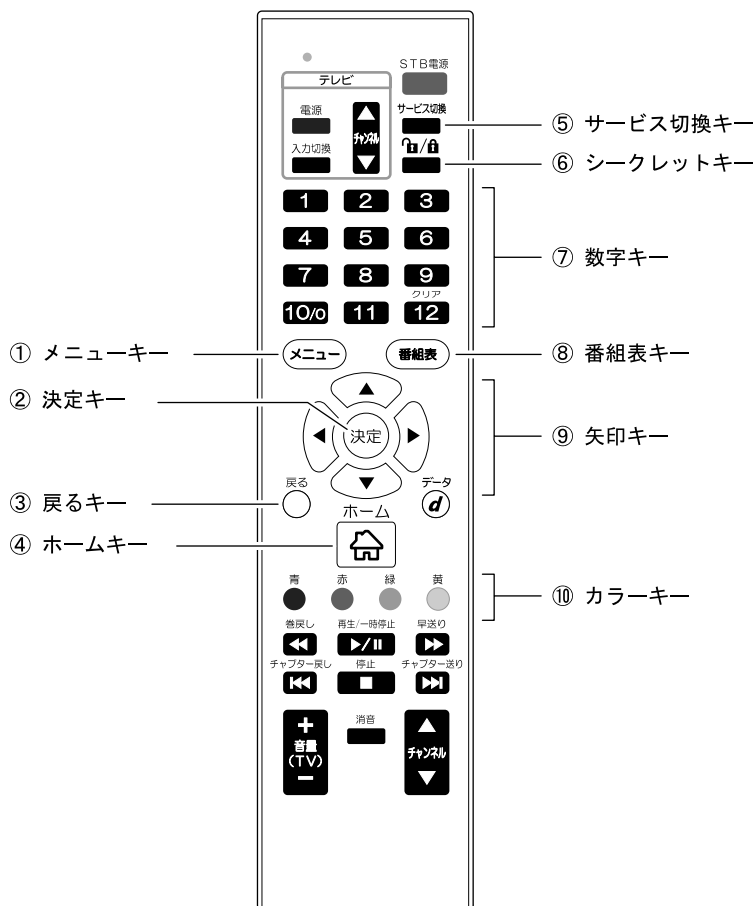
名 称	ボタン	機能説明
① テレビチャンネルキー	▲ チャンネル ▼	テレビの放送チャンネルを変更します。
② テレビ電源キー	電源	テレビの電源の入/切を行います。
③ テレビ入力切換キー	入力切換	テレビの入力を切り換えます。
④ メニューキー	メニュー	メニューを表示します。
⑤ 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
⑥ 戻るキー	戻る	1つ前の画面に戻ります。
⑦ ホームキー	ホーム	[ホーム]画面を表示します。
⑧ 再生/一時停止キー	再生/一時停止 ▶/II	映像再生を開始/一時停止します。
⑨ 巻戻しキー	巻戻し	映像再生を巻き戻しします。
⑩ チャプター戻しキー	チャプター戻し	1つ前のチャプターに移動します。
⑪ テレビ音量キー	+ 音量 (TV) −	テレビの音量を変更します。
⑫ テレビ消音キー	消音	テレビを消音します。 再度押すと、消音前の音量を出力します。

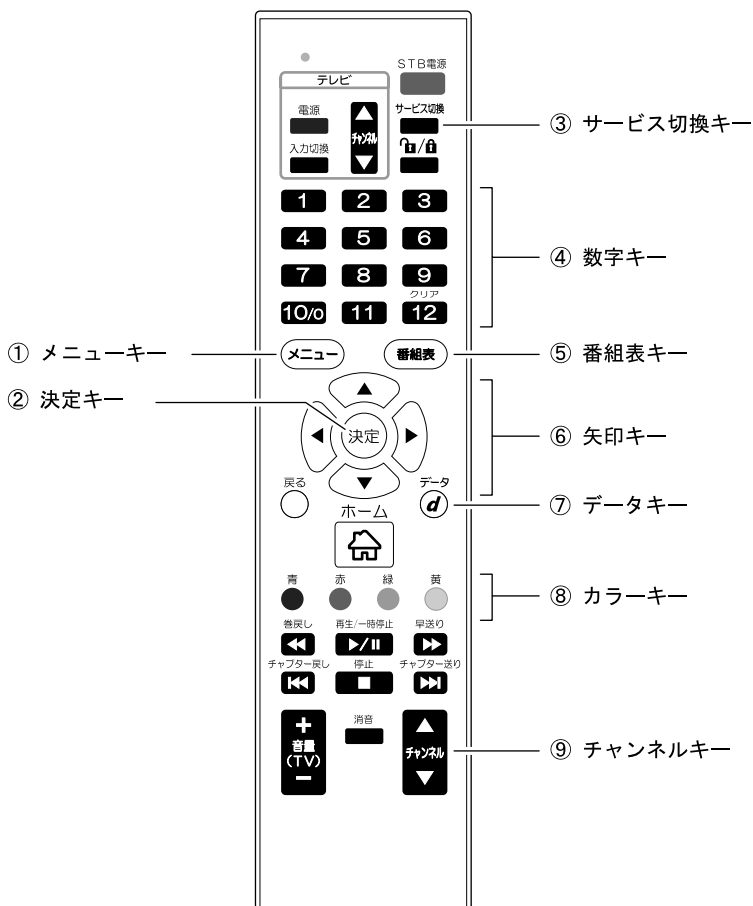
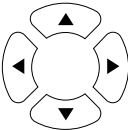
お知らせ

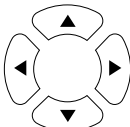
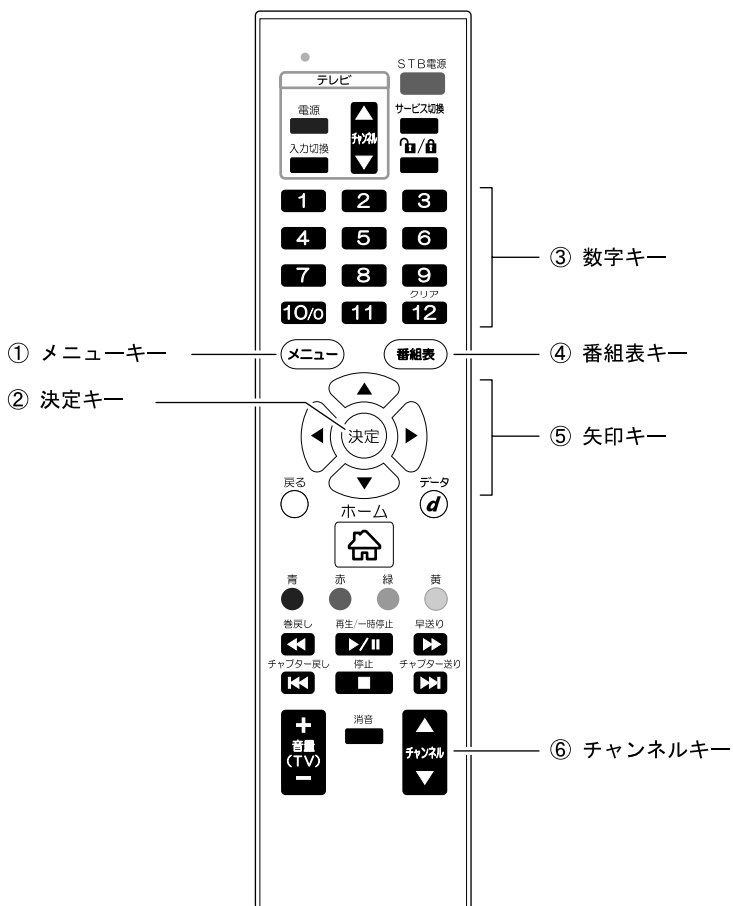
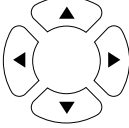
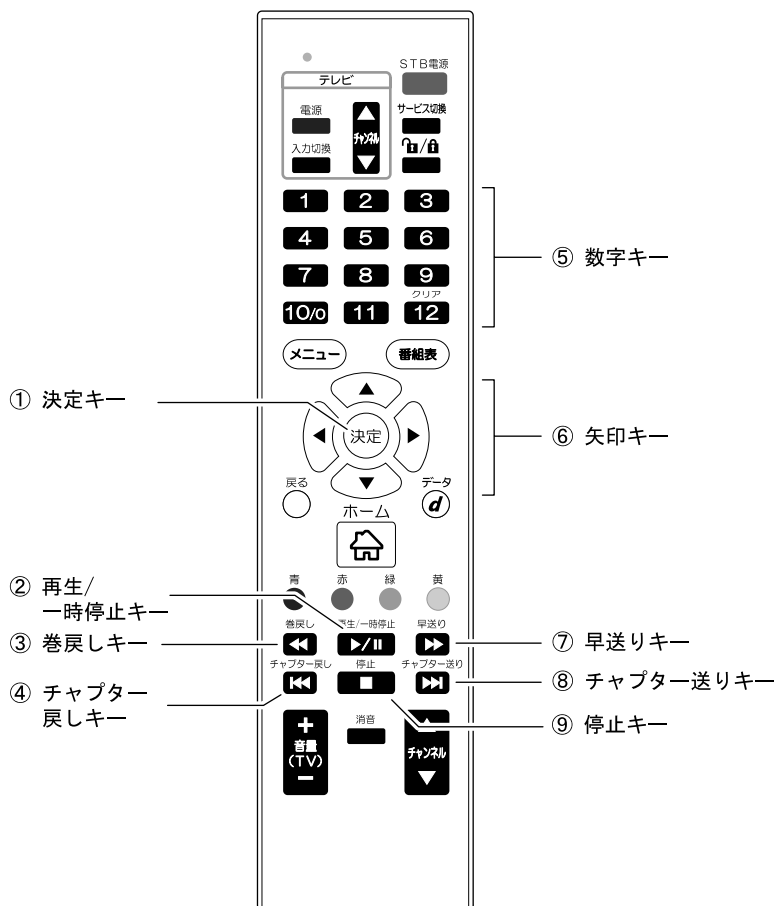
①、②、③、⑪、⑫は接続したテレビを操作するキーです。(☞ p.58)

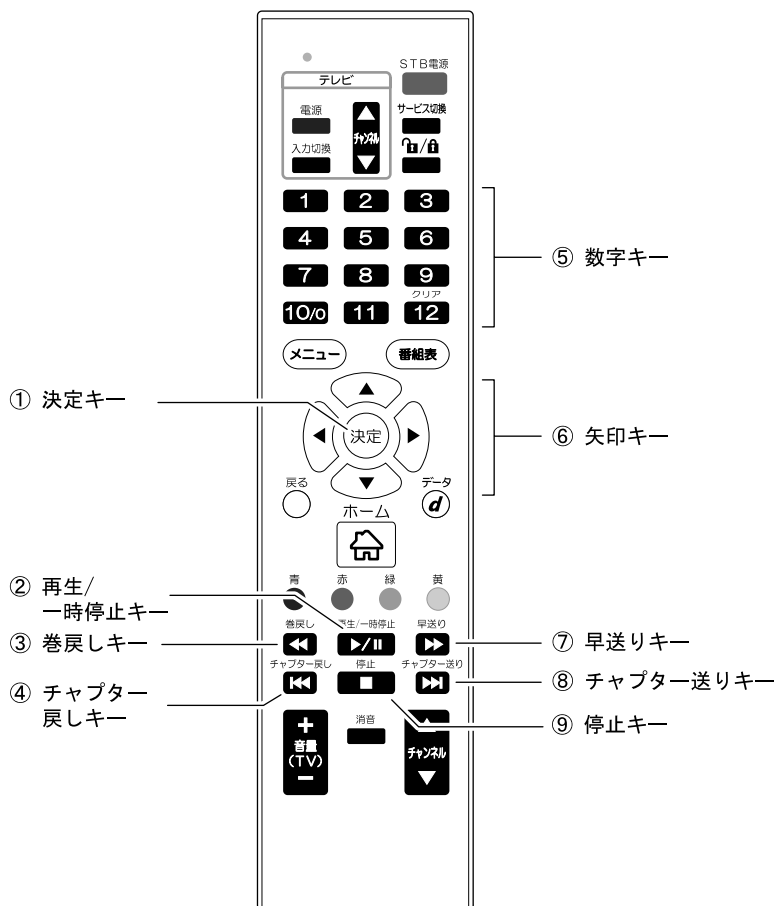
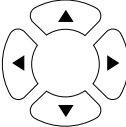
名 称	ボタン	機能説明
⑬ STB電源キー	STB電源	本商品のスタンバイ/スタンバイ解除をします。
⑭ サービス切換キー	サービス切換	[ホーム]画面、地上デジタル放送、BSデジタル放送を切り換えます。
⑮ シークレットキー		シークレットモードを設定/解除します。 シークレットモードを設定にするためには暗証番号の入力が必要となります。(☞ p.98)
⑯ 数字キー	1 ～ 12	各サービス画面に応じて数字などを入力します。
クリアキー	クリア 12	
⑰ 番組表キー	番組表	番組表を表示します。
⑱ 矢印キー		メニューカーソルを移動します。
⑲ データキー	データ d	[データ放送]画面を表示します。
⑳ カラーキー	青 赤 緑 黄	それぞれの画面に表示された動作をします。
㉑ 早送りキー	早送り	映像再生を早送りします。
㉒ チャプター送りキー	チャプター送り	次のチャプターに移動します。
㉓ 停止キー	停止	再生または録画を停止します。
㉔ チャンネルキー	チャンネル	チャンネルを切り換えます。

お知らせ

[STB電源キー]では、主電源を入れたり、切ったりすることはできません。
主電源を入れたり、切ったりする場合は、本商品前面の電源スイッチで操作します。(☞ p.38)

2-3-1 サービス画面を操作する

名　称	ボタン	機能説明
① メニューキー	メニュー	メニューを表示します。
② 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
③ 戻るキー	戻る	1つ前の画面に戻ります。
④ ホームキー	ホーム	[ホーム]画面を表示します。
⑤ サービス切換キー	サービス切換	[ホーム]画面、地上デジタル放送、BSデジタル放送を切り換えます。
⑥ シークレットキー		シークレットモードを設定/解除します。 シークレットモードを設定にするためには暗証番号の入力が必要となります。(☞ p.98)
⑦ 数字キー	1 ～ 10/0	対応した数値を入力します。
クリアキー	クリア 12	入力した数字を取り消します。
⑧ 番組表キー	番組表	番組表を表示します。
⑨ 矢印キー		メニューカーソルを移動します。
⑩ カラーキー	青 赤 緑 黄	それぞれの画面に表示された動作をします。

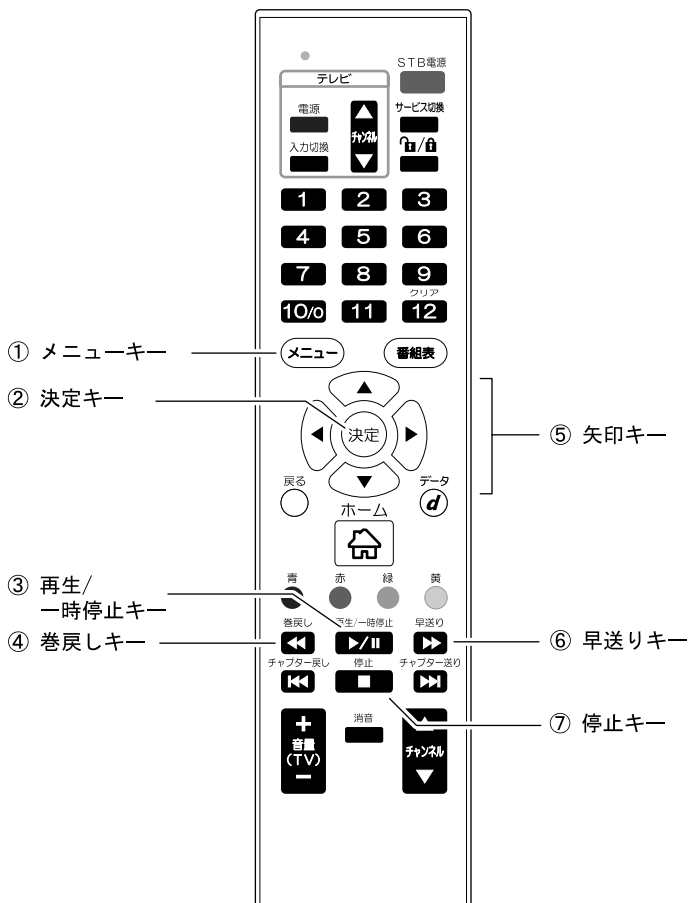
2-3-2 地上デジタル放送/BS デジタル放送を見る

名　称	ボタン	機能説明
① メニューキー	メニュー	メニューを表示します。
② 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
③ サービス切換キー	サービス切換	[ホーム]画面、地上デジタル放送、BSデジタル放送を切り換えます。
④ 数字キー	1 ～ 12	指定したチャンネルに切り換えます。
⑤ 番組表キー	番組表	番組表を表示します。
⑥ 矢印キー	▲ ◀ ▶ ▼	メニューカーソルを移動します。
⑦ データキー	データ d	[データ放送]画面を表示します。
⑧ カラーキー	青 赤 緑 黄	それぞれの画面に表示された動作をします。
⑨ チャンネルキー	▲ チャンネル ▼	チャンネルを切り換えます。

お知らせ

本商品は、スタンバイ状態でもストリームデータを受信することがありますが、地上デジタル放送/BSデジタル放送の番組表データを取得するためで、正常な動作です。

2-3-3 テレビサービスを見る

名 称	ボタン	機能説明
① メニューキー	メニュー	メニューを表示します。
② 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
③ 数字キー	1 ～ 10/0	３桁の数字を入力し、指定したチャンネルに切り換えます。
クリアキー	クリア 12	入力した数字を取り消します。
④ 番組表キー	番組表	番組表を表示します。
⑤ 矢印キー	▲ ◀ ▶ ▼	メニューカーソルを移動します。
⑥ チャンネルキー	▲ チャンネル ▼	チャンネルを変更します。

2-3-4 ビデオサービスを見る

名 称	ボタン	機能説明
① 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
② 再生/一時停止キー	再生/一時停止 ▶/II	ビデオ映像を再生/一時停止します。
③ 巻戻しキー	巻戻し ◀◀	ビデオ映像を巻き戻しします。
④ チャプター戻しキー	チャプター戻し ⏮	1つ前のチャプターに移動します。
⑤ 数字キー	1 ～ 10/0	入力した数字に応じて指定時間にジャンプします。
クリアキー	クリア 12	入力した数字を取り消します。
⑥ 矢印キー	▲ ◀ ▶ ▼	共通：メニューカーソルを移動します。 ビデオ映像再生中： 右：ビデオ映像を1分進めます。 左：ビデオ映像を1分戻します。 上：ビデオ映像を10分進めます。 下：ビデオ映像を10分戻します。
⑦ 早送りキー	早送り ▶▶	ビデオ映像を早送りします。
⑧ チャプター送りキー	チャプター送り ⏭	次のチャプターに移動します。
⑨ 停止キー	停止 ■	ビデオ映像の再生を停止します。

2-3-5 カラオケサービスを見る

名 称	ボタン	機能説明
① 決定キー	決定	選択されたメニュー項目を決定します。
② 再生/ 一時停止キー	再生/一時停止 ▶/II	曲再生を開始/一時停止します。
③ 巻戻しキー	巻戻し ◀◀	曲再生を巻き戻しします。
④ チャプター 戻しキー	チャプター戻し ⏮	曲の最初に戻ります。
⑤ 数字キー	1 ～ 10/0	曲番号などの数字を入力します。
クリアキー	クリア 12	入力した数字を取り消します。
⑥ 矢印キー	▲ ◀ ▶ ▼	メニューカーソルを移動します。
⑦ 早送りキー	早送り ▶▶	曲再生を早送りします。
⑧ チャプター 送りキー	チャプター送り ⏭	次に予約した曲を再生します。
⑨ 停止キー	停止 ■	曲再生を停止します。

2-3-6 録画する/録画番組を再生する

本商品に USB ハードディスクを接続することで、以下の番組を録画できます。（☞ p. 91）

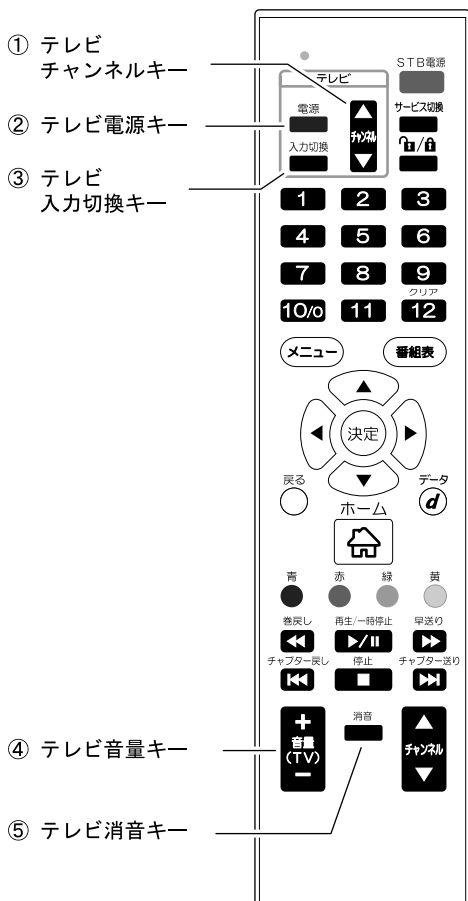
- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送

<table>
<tr><th>名 称</th><th>ボタン</th><th colspan="2">機能説明</th></tr>
<tr><td>① メニュー
キー</td><td>メニュー</td><td colspan="2">メニューを表示します。</td></tr>
<tr><td>② 決定キー</td><td>決定</td><td colspan="2">選択されたメニュー項目を決定します。</td></tr>
<tr><td>③ 再生/
一時停止キー</td><td>再生/一時停止</td><td colspan="2">録画映像を再生/一時停止します。</td></tr>
<tr><td>④ 巻戻しキー</td><td>巻戻し</td><td colspan="2">録画映像を巻き戻しします。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">⑥ 矢印キー</td><td rowspan="5"></td><td>共通</td><td>メニューカーソルを移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">録画映像
再生中</td><td>右：録画映像を1分進めます。</td></tr>
<tr><td>左：録画映像を1分戻します。</td></tr>
<tr><td>上：録画映像を10分進めます。</td></tr>
<tr><td>下：録画映像を10分戻します。</td></tr>
<tr><td>⑥ 早送りキー</td><td>早送り</td><td colspan="2">録画映像を早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑦ 停止キー</td><td rowspan="2">停止</td><td>録画映像の
再生中</td><td>録画映像の再生を停止し、
録画リストの画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>録画中</td><td>録画を停止します。</td></tr>
</table>

お知らせ

録画方法の手順など詳細については、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

2-3-7 接続したテレビを操作する

お知らせ

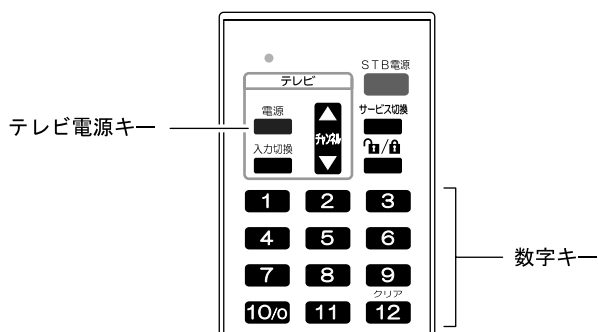
本商品のリモコンで、テレビを操作するためには「テレビを操作するための設定」（ p.60）を操作してください。

名　称	ボタン	機能説明
① テレビ チャンネル キー	▲ ﾁｬﾝﾈﾙ ▼	テレビの放送チャンネルを変更します。
② テレビ 電源キー	電源	テレビの電源の入/切を行います。
③ テレビ入力 切換キー	入力切換	テレビの入力を切り換えます。
④ テレビ 音量キー	+ 音量 （TV） −	テレビの音量を変更します。
⑤ テレビ 消音キー	消音	テレビを消音します。 再度押すと、消音前の音量を出力します。

テレビを操作するための設定

本商品に付属のリモコンで、テレビを操作できるように設定します。

1 テレビの電源を入れます。

2 本商品のリモコンを使い、テレビのリモコン受光部に向けて信号を登録します。

[テレビ電源キー]を押しながら、3 桁の番号を[数字キー]で入力します。

キー操作は次ページの表を参照し、ご使用されているテレビメーカーに合わせて登録してください。

テレビメーカー	キー操作
パナソニック（松下）1	電源 ＋ 10/o ⇒ 1 ⇒ 1
パナソニック（松下）2	電源 ＋ 10/o ⇒ 1 ⇒ 2
ソニー	電源 ＋ 10/o ⇒ 2 ⇒ 1
シャープ1	電源 ＋ 10/o ⇒ 3 ⇒ 1
シャープ2	電源 ＋ 10/o ⇒ 3 ⇒ 2
シャープ3	電源 ＋ 10/o ⇒ 3 ⇒ 3
東芝	電源 ＋ 10/o ⇒ 4 ⇒ 1
日立	電源 ＋ 10/o ⇒ 5 ⇒ 1
ビクター	電源 ＋ 10/o ⇒ 6 ⇒ 1
三菱1	電源 ＋ 10/o ⇒ 7 ⇒ 1
三菱2	電源 ＋ 10/o ⇒ 7 ⇒ 2
パイオニア	電源 ＋ 10/o ⇒ 8 ⇒ 1
NEC	電源 ＋ 10/o ⇒ 9 ⇒ 1
三洋1	電源 ＋ 1 ⇒ 10/o ⇒ 1
三洋2	電源 ＋ 1 ⇒ 10/o ⇒ 2
三洋3	電源 ＋ 1 ⇒ 10/o ⇒ 3
三洋4	電源 ＋ 1 ⇒ 10/o ⇒ 4
フナイ1	電源 ＋ 1 ⇒ 1 ⇒ 1
フナイ2	電源 ＋ 1 ⇒ 1 ⇒ 2
フナイ3	電源 ＋ 1 ⇒ 1 ⇒ 3
富士通ゼネラル	電源 ＋ 1 ⇒ 2 ⇒ 1
アイワ1	電源 ＋ 1 ⇒ 3 ⇒ 1
アイワ2	電源 ＋ 1 ⇒ 3 ⇒ 2
エプソン	電源 ＋ 1 ⇒ 4 ⇒ 1
オリオン	電源 ＋ 1 ⇒ 5 ⇒ 1

お知らせ

・同じメーカーで複数の番号がある場合は、正しく操作できる番号に設定してください。
・お使いのテレビによっては本商品付属のリモコンで操作できない場合があります。その場合は、テレビのリモコンをお使いください。
・テレビのチャンネルは[数字キー]で変更できません。
[テレビチャンネルキー]で変更してください。

3　映像配信サービスご利用の準備

本章では、映像配信サービスを利用するまでの準備について説明します。

3-1 初期設定

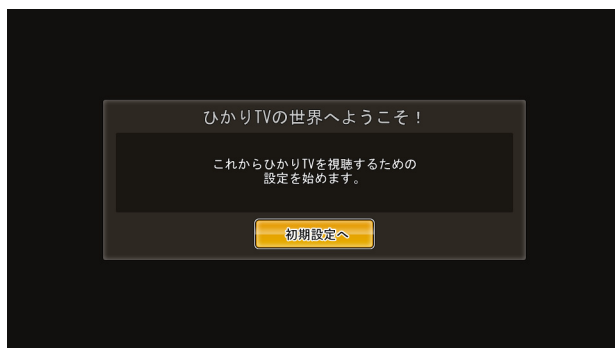
初めて本商品をご使用される場合は、次の手順に従い初期設定をしてください。

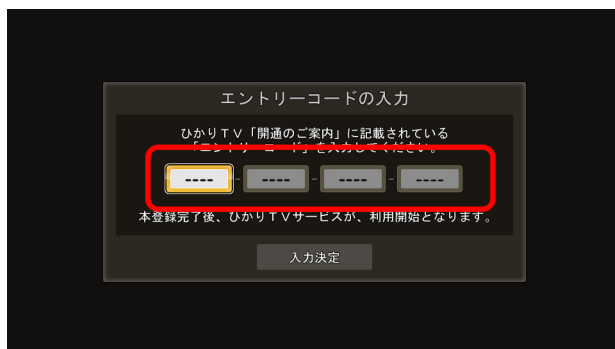
お願い

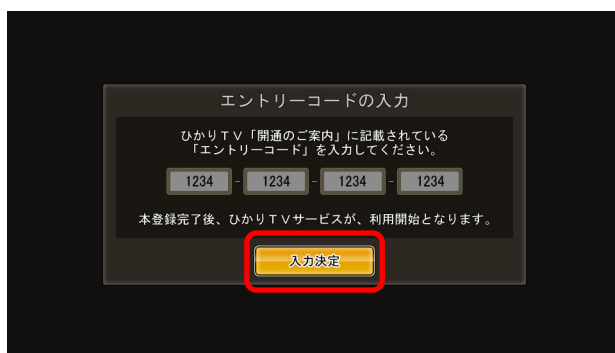
初期設定を開始する前に、NTT東日本よりお送りしている「開通のご案内」、もしくはNTT西日本からお送りしている「お申し込み内容のご案内」と、映像配信サービス会社からお送りしている「開通のご案内」をご用意ください。

1 本商品の主電源を入れます。

[ネットワーク接続]画面が表示されます。

しばらくすると映像配信サービスの[ようこそ]画面が表示されます。

2 **リモコンの[決定キー]を押します。**

[エントリーコードの入力]画面が表示されます。

3 **映像配信サービス会社からの『開通のご案内』などに記載されている「エントリーコード」を、リモコンの[数字キー]で入力します。**

入力項目の移動はリモコンの[矢印キー]を使用します。

お知らせ

・入力した数字を取り消す場合は、リモコンの[クリアキー]を押します。

・入力項目の移動はリモコンの[矢印キー]を使用します。

4 [入力決定]を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。

[回線登録]画面が表示されます。

フレッツ 光ネクストをご利用のお客様

NTT 東日本エリアでＢフレッツをご利用のお客様

NTT 西日本エリアでフレッツ・光プレミアム、
またはＢフレッツとフレッツ・v6 アプリをご利用のお客様

5 『開通のご案内』、『お申し込み内容のご案内』などに記載されている ID をリモコンの[数字キー]で入力します。

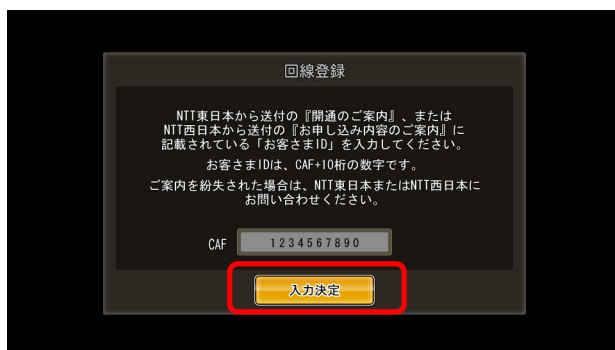
- フレッツ 光ネクストをご利用のお客様

  NTT 東日本よりお送りしている『開通のご案内』、もしくは NTT 西日本よりお送りしている『お申し込み内容のご案内』に記載の CAF+10 桁の数字をご参照のうえ、入力してください。

- NTT 東日本エリアでＢフレッツをご利用のお客様

  『開通のご案内』に記載の COP+8 桁の数字をご参照のうえ、入力してください。

- NTT 西日本エリアでフレッツ・光プレミアム、
  またはＢフレッツとフレッツ・v6 アプリをご利用のお客様

  『お申し込み内容のご案内』に記載の S+10 桁の数字(Sub No.)をご参照のうえ、入力してください。

画面はフレッツ 光ネクストをご利用の場合を例にしています。

6 ［入力決定］を選択し、リモコンの［決定キー］を押します。

正常に登録が終了すると、［ホーム］画面が表示されます。

お知らせ

- ［ホーム］画面が表示されるまでに数分間かかる場合があります。
  エラー画面が表示された場合は、案内に従ってください。
- 初期設定後からテレビサービスがご利用できるまで時間がかかります。
  しばらくお待ちいただき、再度リモコンの［ホームキー］を押してご確認ください。
  なおビデオサービスとカラオケサービスはすぐにご利用いただけます。

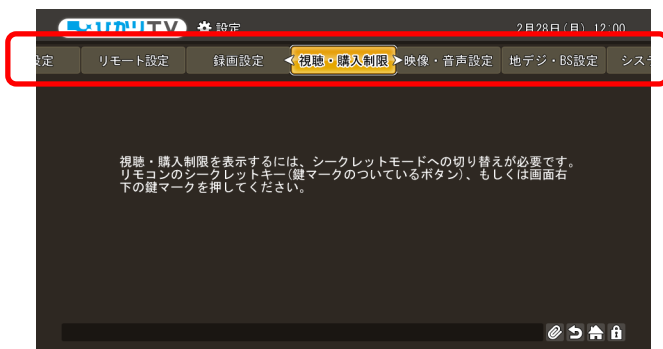
これで初期設定は終了です。
引き続き、地上デジタル放送/BSデジタル放送の設定を行ってください。
（☞ p. 68）

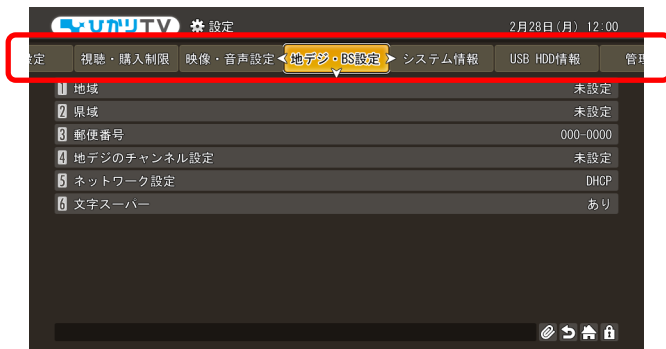
3-2 地上デジタル放送/BSデジタル放送の設定

地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信設定をします。

お知らせ

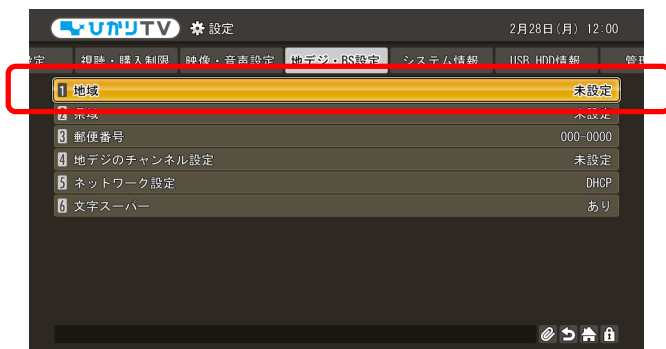
- 地上デジタル放送は、フレッツ 光ネクストをご利用で地上デジタル放送提供エリアのお客様のみご利用いただけます。
- 地上デジタル放送の提供エリアについては、映像配信サービス会社にお問い合わせください。

1 [ホーム]画面の[設定]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[設定]画面が表示されます。

2 メニューの[地デジ・BS 設定]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[地デジ・BS 設定]画面が表示されます。

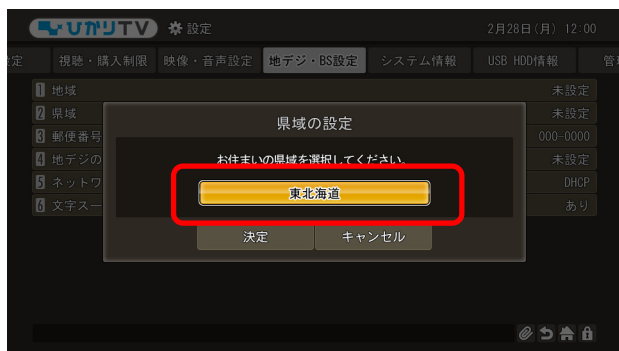
お知らせ

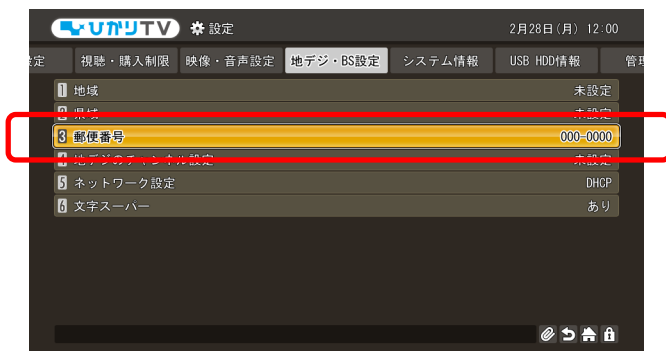
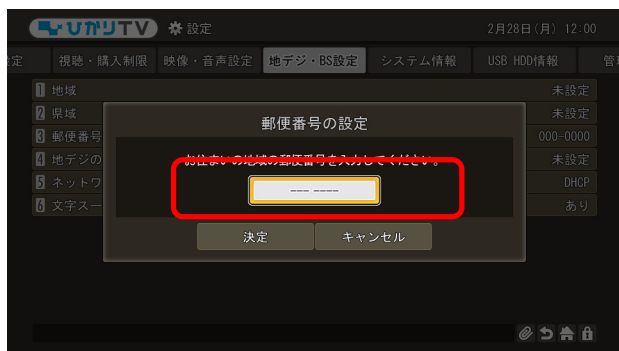
地上デジタル放送をご利用できない場合は、「BS設定」と表示されます。

3 メニューの[地域]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[地域の設定]画面が表示されます。

- 地域名にカーソルを合わせてリモコンの[決定キー]を押すと、地域リストが表示されます。
  リモコンの[矢印キー]の上下で、お住まいの地域を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。
- 決定 にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。
  [地デジ・BS設定]画面が表示されます。

4 メニューの[県域]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[県域の設定]画面が表示されます。

- 県域名にカーソルを合わせてリモコンの[決定キー]を押すと、県域リストが表示されます。
  リモコンの[矢印キー]の上下で、お住まいの県域を選択し、リモコンの[決定キー]を押します。
- 決定 にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。
  [地デジ・BS設定]画面が表示されます。

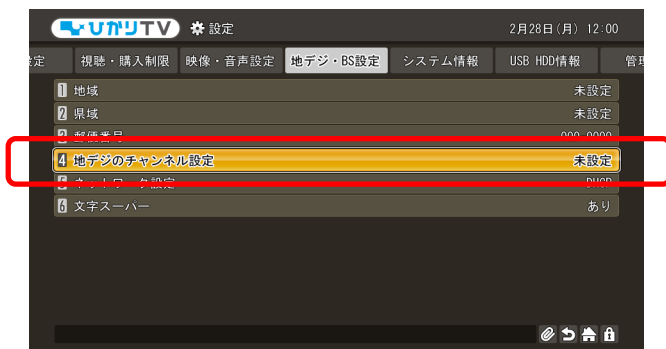
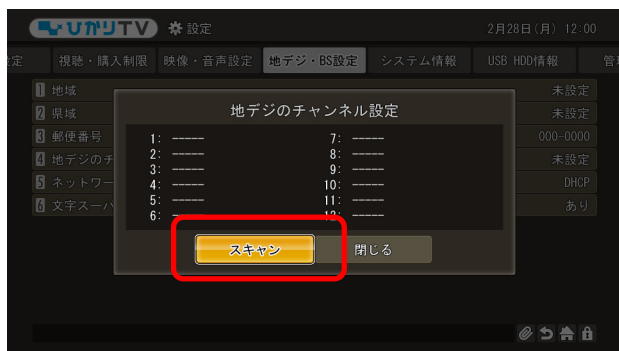
5 メニューの[郵便番号]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[郵便番号の設定]画面が表示されます。

- リモコンの[数字キー]で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、リモコンの[決定キー]を押します。
- 決定 にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。
  [地デジ・BS設定]画面が表示されます。

お願い

お客様のご利用状況によっては、地上デジタル放送の提供エリアであってもサービスがご利用できない場合があります。お申し込み内容をご確認ください。

お知らせ

地上デジタル放送提供エリアのお客様は、引き続き手順 **6** に進んでください。

6 メニューの[地デジのチャンネル設定]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[地デジのチャンネル設定]画面が表示されます。

- [スキャン]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。
  地デジのチャンネルをスキャン(検索)します。
  チャンネルの検索が完了したら、画面の内容を確認します。
- [閉じる]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。
  [地デジ・BS設定]画面が表示されます。

お知らせ

チャンネルのスキャン(検索)にはしばらく時間がかかります。
終了するまでしばらくお待ちください。

これで地上デジタル放送の受信設定は終了です。

4 本商品の設定

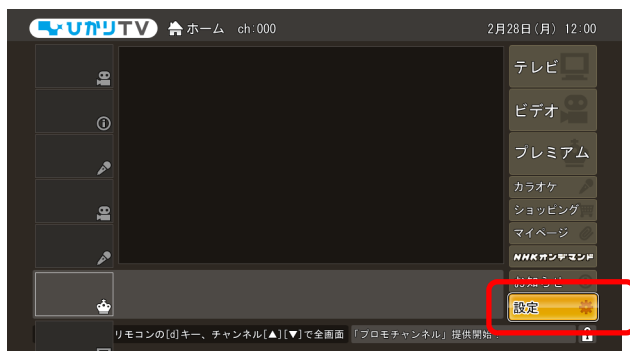
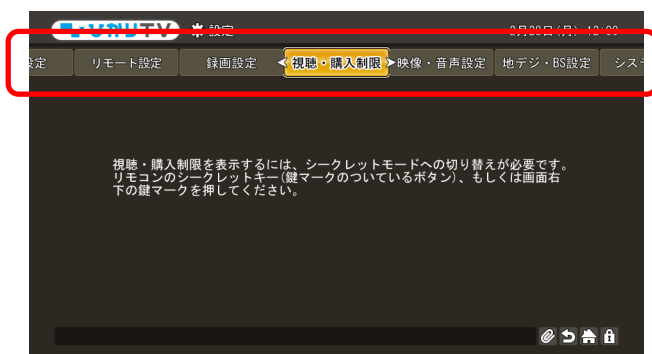
本商品には、映像を視聴するための設定や、視聴を制御するための設定機能があります。本章では、各設定項目について説明します。

4-1 [設定]画面の概要

すべての設定は、[設定]画面から操作します。
[設定]画面の表示方法と、画面内の各ボタンの説明は、次のとおりです。

1 リモコンの[ホームキー]を押します。

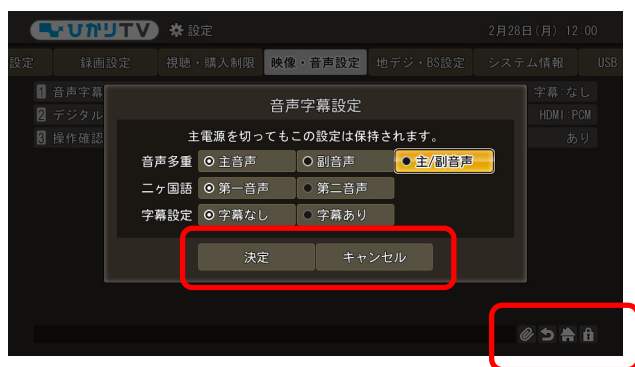
[ホーム]画面が表示されます。

2 ［ホーム］画面の［設定］にカーソルを合わせ、リモコンの［決定キー］を押します。

［設定］画面が表示されます。

変更したいメニューにリモコンの［矢印キー］でカーソルを合わせ、リモコンの［決定キー］を押すと、各メニューの設定画面が表示されます。

各画面の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

4-1-1 共通操作

各設定画面には、共通のボタンが用意されています。

● 決定

設定画面の内容を反映します。

● キャンセル

前画面に戻ります。

STOP お願い

各画面で設定を変更（更新）された場合は、必ず 決定 を押してください。

決定 を押さずに、キャンセル を押すと、設定が反映されずに前画面に戻ります。

● マイページ

[マイページ]画面を表示します。

● 戻る

前画面に戻ります。

● ホーム

[ホーム]画面に戻ります。

● シークレット

シークレットモードの設定/解除を切り換えます。

シークレットモード 設定：

シークレットモード 解除：

シークレットモードを設定にするためには暗証番号の入力が必要となります。（☞ p. 98）

4-2 メニュー一覧

本商品に用意されている設定画面の一覧です。

■映像・音声設定

本商品の映像と音声に関する項目を設定します。(☞ p. 80)

項 目	設定内容	参 照
音声字幕	出力される音声と字幕表示を設定します。	p. 81
デジタル音声出力	デジタル音声出力を設定します。	p. 82
操作確認音設定	リモコン操作時の確認音の有無を設定します。	p. 83

■地デジ・BS 設定

地上デジタル放送/BS デジタル放送の受信に関する項目を設定します。(☞ p. 84)

項 目	設定内容	参 照
地域	お住まいの地域を設定します。	p. 85
県域	お住まいの県域を設定します。	p. 86
郵便番号	お住まいの地域の郵便番号を設定します。	p. 87
地デジのチャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネルを設定します。	p. 88
ネットワーク設定	双方向サービスを利用するためのネットワーク設定をします。	p. 89
文字スーパー	文字スーパーの表示を設定します。	p. 90

お知らせ

- 「地デジ・BS設定」は、お客様が地上デジタル放送をご利用できない場合は、「BS設定」と表示されます。
- 「地デジのチャンネル設定」は、お客様が地上デジタル放送をご利用できる場合のみ表示されます。

■録画設定

録画に関する項目を設定します。（☞ p. 91）

項 目	設定内容	参 照
USB ハードディスク接続設定	本商品に接続している USB ハードディスクを認証します。	p. 93
USB ハードディスク取り外し	本商品に接続している USB ハードディスクを安全に取り外します。	p. 94
USB ハードディスクフォーマット	本商品に接続している USB ハードディスクをフォーマットします。	p. 95
USB ハードディスク省電力設定	本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。	p. 96

■視聴・購入制限

本商品の視聴・購入制限に関する項目を設定します。（☞ p. 97）

項 目	設定内容	参 照
シークレットモード暗証番号	シークレットモードに使用する暗証番号を設定します。	p. 98
シークレットモード表示設定	シークレットモードの制限を設定します。	p. 99
購入制限暗証番号	コンテンツ購入時の暗証番号を設定します。	p. 100

■管理設定

本商品の回線登録情報の変更、または本商品の初期化を実行します。（☞ p. 101）

項 目	設定内容	参 照
回線登録情報変更	回線登録情報を変更します。	p. 102
初期化	本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時に戻します。	p. 103
再起動	本商品を再起動します。	p. 104

■システム情報

本商品のシステム情報を表示します。(☞ p. 105)

■USB HDD 情報

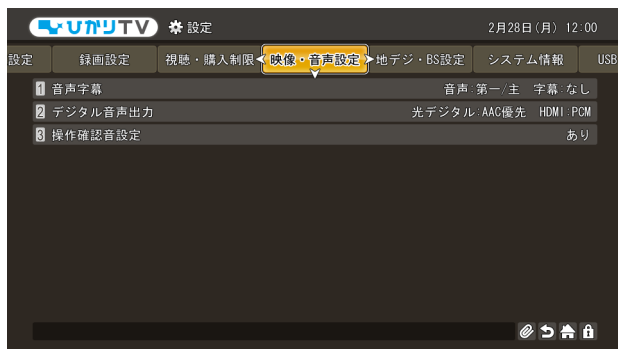
本商品に接続している USB ハードディスクから取得した情報を表示します。
(☞ p. 106)

■リモート設定

リモートサービスに関する項目を設定します。(☞ p. 108)

項 目	設定内容	参 照
リモート接続設定	リモートサービスに接続するための情報を表示します。	p. 109
リモート接続確認・解除	本商品とリモート接続設定されたユーザーの一覧表示および、接続を解除します。	p. 110
リモート予約同期設定	リモート予約サーバーとの同期を設定します。	p. 111
りもこんプラス機能設定	りもこんプラス機能の有効/無効を設定します。	p. 112

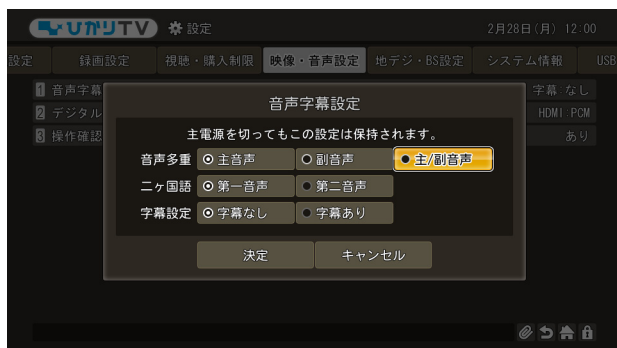
4-3 映像・音声設定

本商品の映像と音声に関する項目を設定します。

●［音声字幕］
出力される音声と字幕表示を設定します。（☞ p. 81）

●［デジタル音声出力］
本商品のデジタル音声出力を設定します。（☞ p. 82）

●［操作確認音設定］
リモコン操作時の確認音の有無を設定します。（☞ p. 83）

4-3-1 音声字幕設定

出力される音声と字幕表示を設定します。

●[音声多重]

主音声と副音声の出力を設定します。

●[二ヶ国語]

第一音声と第二音声の出力を設定します。

お知らせ

二ヶ国語放送では番組に２つの音声(第一音声と第二音声)を含みます。これら第一音声と第二音声のどちらの音声を出力するかを設定します。さらに第一音声と第二音声それぞれに主音声/副音声が含まれます。

二ヶ国語放送の例

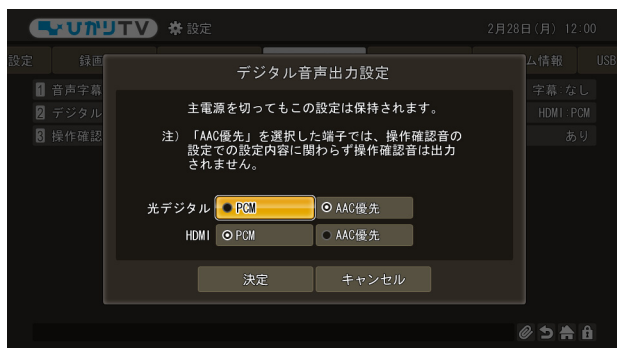
第一音声：日本語放送(主音声：日本語、副音声：英語)

第二音声：英語放送(主音声：英語、副音声：フランス語)

●[字幕設定]

字幕の表示/非表示を設定します。

4-3-2 デジタル音声出力設定

デジタル音声出力を設定します。

●[光デジタル]

光デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。

●[HDMI]

HDMI 出力端子から出力する音声方式を設定します。

PCM　　：PCM信号を出力します。

AAC優先　：ご覧いただいているサービスの音声がAAC方式の場合は、AAC信号を出力します。
それ以外はPCM信号を出力します。

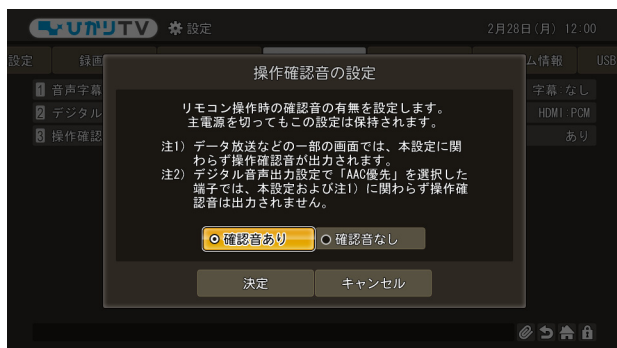
お願い

[AAC優先]はAAC方式に対応した機器(AVアンプなど)と接続した場合のみ、ご利用になれます。
AAC方式に対応していない機器と接続する場合は、[PCM]に設定してください。

お知らせ

- [PCM]では番組にかかわらず、常に2chで出力されます。
- [AAC優先]では番組に応じて、5.1chなどのサラウンド音声を楽しめます。
- 本商品付属のリモコン操作音、およびデータ放送の一部音声(効果音など)は[PCM]選択時のみ出力されます。
- AAC信号を出力しているときには、本商品で主音声・副音声の切り換えはできません。接続した機器側で操作してください。

4-3-3 操作確認音設定

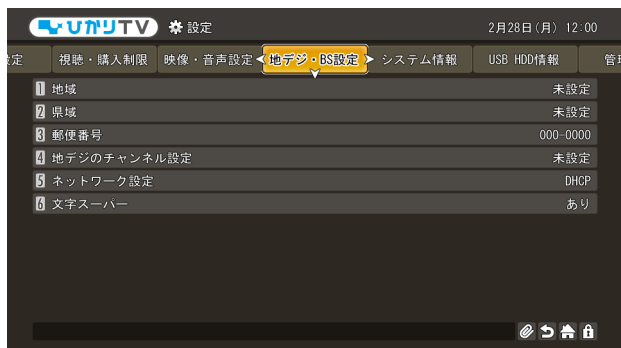
リモコン操作時の確認音の有無を設定します。

●[操作確認音の設定]

リモコン操作時の確認音あり/なしを設定します。

4-4 地デジ・BS設定

地上デジタル放送/BSデジタル放送の受信に関する項目を設定します。

お知らせ

- ・お客様が地上デジタル放送をご利用できない場合は、[BS設定]画面が表示されます。
- ・[地デジのチャンネル設定]は、お客様が地上デジタル放送をご利用できる場合のみ表示されます。

●[地域]

お住まいの地域を設定します。（☞ p.85）

●[県域]

お住まいの県域を設定します。（☞ p.86）

●[郵便番号]

お住まいの地域の郵便番号を設定します。（☞ p.87）

●[地デジのチャンネル設定]

地上デジタル放送のチャンネルを設定します。（☞ p.88）

●[ネットワーク設定]

双方向サービスを利用するためのネットワーク設定をします。（☞ p.89）

●[文字スーパー]

文字スーパーの表示を設定します。（☞ p.90）

4-4-1 地域設定

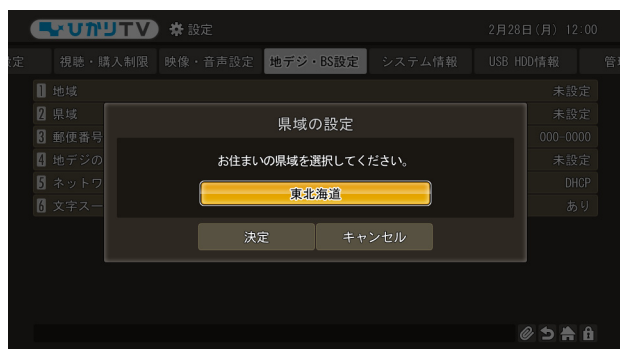
お住まいの地域を設定します。

●[地域の設定]

地域名にカーソルを合わせてリモコンの[決定キー]を押すと、地域リストが表示されます。

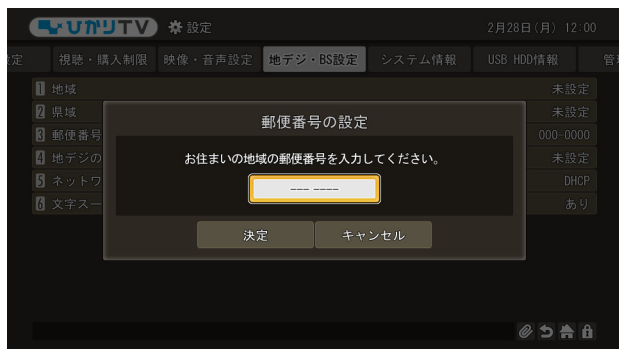
リモコンの[矢印キー]の上下でお住まいの地域を選択してください。

4-4-2 県域設定

お住まいの県域を設定します。
地上デジタル放送/BS デジタル放送のデータ放送にて使用します。

●[県域の設定]

県域名にカーソルを合わせてリモコンの[決定キー]を押すと、県域リストが表示されます。
リモコンの[矢印キー]の上下でお住まいの都道府県を選択してください。

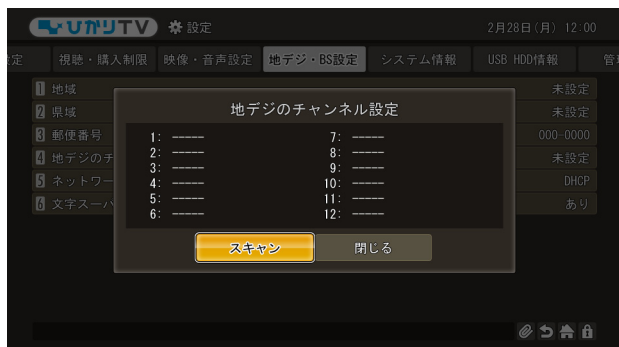
4-4-3 郵便番号設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。
地上デジタル放送/BS デジタル放送のデータ放送にて使用します。

●［郵便番号の設定］
　リモコンの［数字キー］でお住まいの地域の郵便番号を入力してください。

4-4-4 地デジのチャンネル設定

地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

お知らせ

本画面は、お客様が地上デジタル放送をご利用できる場合のみ表示されます。

●［スキャン］

視聴できるチャンネルを検索します。

お知らせ

チャンネルの検索にはしばらく時間がかかります。
終了するまでしばらくお待ちください。

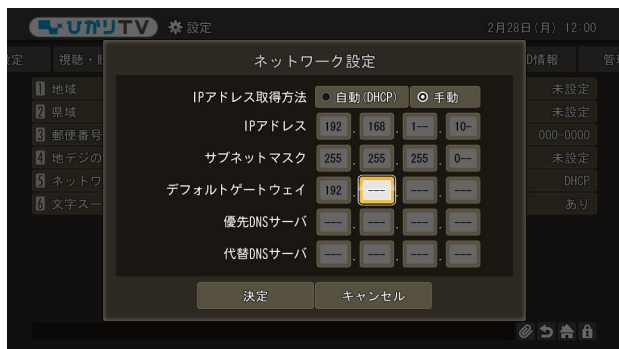
●［閉じる］

前画面に戻ります。

4-4-5 ネットワーク設定

双方向サービスを利用するために必要なネットワーク設定をします。

お知らせ

ネットワーク設定には、インターネットが利用できるネットワーク接続機器が必要です。インターネットの設定についてはご利用のネットワーク接続機器をご確認ください。

●[IP アドレス取得方法]

IP アドレスの取得方法を設定します。

お知らせ

[自動(DHCP)]を選択すると画面内の項目はネットワークから自動で取得します。
通常は[自動(DHCP)]に設定してください。
[手動]を選択した場合は、以下の5つの項目に値を入力してください。

●[IP アドレス]

IP アドレスをリモコンの[数字キー]で入力します。

●[サブネットマスク]

サブネットマスクをリモコンの[数字キー]で入力します。

●[デフォルトゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイのIPアドレスをリモコンの[数字キー]で入力します。

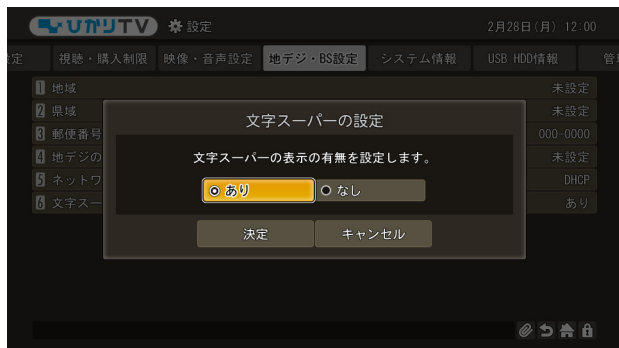
●[優先 DNS サーバ]

優先DNSサーバのIPアドレスをリモコンの[数字キー]で入力します。

●[代替 DNS サーバ]

代替DNSサーバのIPアドレスをリモコンの[数字キー]で入力します。

4-4-6 文字スーパー

文字スーパーの表示を設定します。

●[文字スーパーの設定]
　文字スーパーの表示/非表示を設定します。

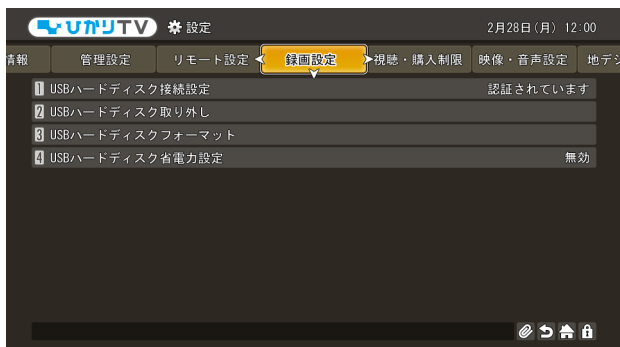
4-5 録画設定

録画に関する項目を設定します。

USB ハードディスクの接続手順については「1-5-3 USB ハードディスクの接続手順」をご参照ください。(p.35)

お知らせ

- 本商品にてUSBハードディスクをご利用になるには、初めにご利用のPM-700(本商品)にてフォーマットする必要があります。(p.95)
- 本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。
  - 録画禁止の番組
  - ビデオサービス（NHKオンデマンドを含む）
  - カラオケサービス
  - 映像配信サービス会社が録画禁止と指定するもの

  また、USBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクや、DVDなどのメディアにコピー/移動することはできません。
- 地上デジタル/BSデジタル放送のデータ放送は再生されません。
- 録画した番組を再生できるのは、録画したPM-700(本商品)のみです。
  複数のPM-700で録画番組の共有はできません。
- 番組の最大録画数はUSBハードディスクごとに999番組です。
  USBハードディスクに残り容量があったとしても、最大録画数を超えた場合は、番組を録画できません。また、お客様でご利用のUSBハードディスクの容量や番組によって、録画可能な番組数は最大録画数と異なります。
- 故障などにより本体を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。
- [録画設定]画面の各項目は、本商品にUSBハードディスクが接続されている場合に表示されます。

●[USB ハードディスク接続設定]
　本商品に接続している USB ハードディスクを認証します。(☞ p. 93)

●[USB ハードディスク取り外し]
　本商品に接続している USB ハードディスクを安全に取り外します。
　(☞ p. 94)

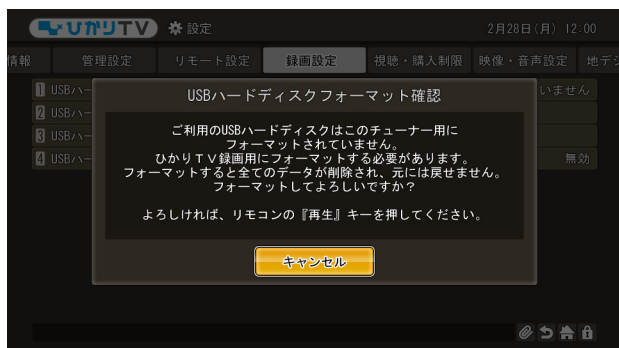
●[USB ハードディスクフォーマット]
　本商品に接続している USB ハードディスクをフォーマットします。
　(☞ p. 95)

●[USB ハードディスク省電力設定]
　本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。
　(☞ p. 96)

お知らせ

- 本商品に、はじめてUSBハードディスクを接続した場合は、[USBハードディスク接続設定]を実行してください。実行後、必要に応じて自動で[USBハードディスクフォーマット確認]画面(☞ p. 95)が表示されますので、フォーマットを実行してください。
- [USBハードディスク接続設定]を実行し、エラーが発生した場合は、[USBハードディスクフォーマット]を実行してください。
- USBハードディスクに録画した番組をすべて消去したい場合は、[USBハードディスクフォーマット]を実行してください。
- フォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されるため、必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
  なお、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクやDVDなどのメディアにコピー/移動することはできません。

4-5-1 USB ハードディスク接続設定

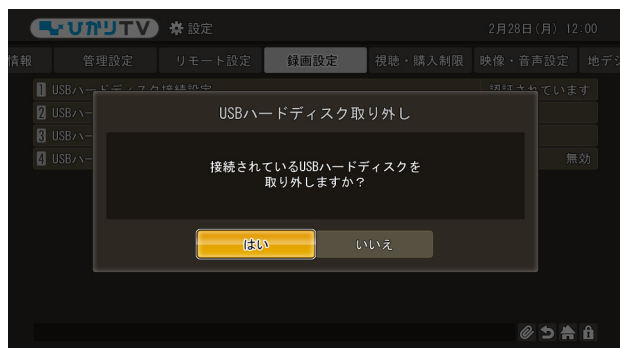
本商品に接続している USB ハードディスクを認証します。

●[USB ハードディスク接続]

認証結果が表示されます。

お知らせ

- 本商品に初めてUSBハードディスクを接続した場合は、[USBハードディスク接続メッセージ]が表示されます。
- 必要に応じて自動で[USBハードディスクフォーマット確認]画面が表示されますので、フォーマットを実行してください。
- USBハードディスクを本商品に接続してフォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
- フォーマット中に、本商品からUSBハードディスクを取り外さないでください。
- 本商品でフォーマットしたUSBハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
  他の機器に接続した場合は、録画したデータが壊れる可能性があります。

4-5-2 USB ハードディスク取り外し

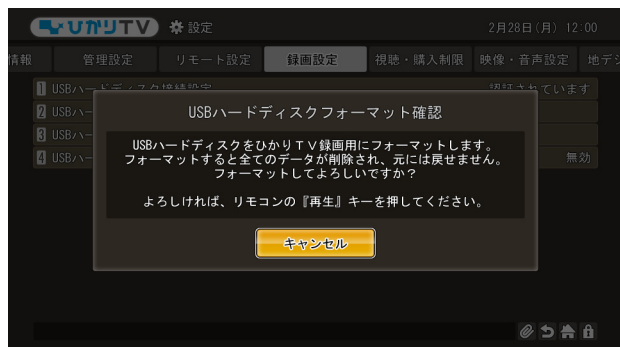
USB ハードディスクを安全に取り外します。

●[USB ハードディスク取り外し]

はい を選択することで、USB ハードディスクを安全に取り外せます。

4-5-3 USB ハードディスクフォーマット

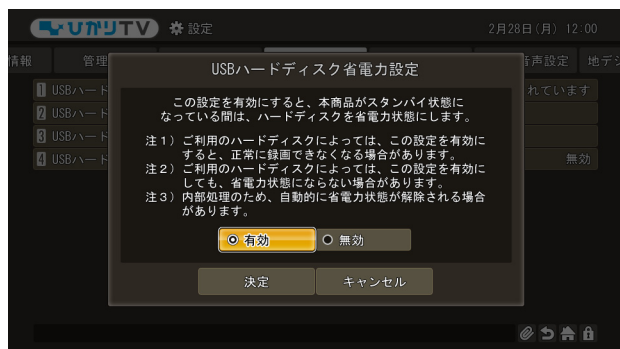
本商品に接続している USB ハードディスクをフォーマットします。
リモコンの[再生キー]を押すとフォーマットを実行します。

お願い

- USBハードディスクを本商品に接続してフォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。
  必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
- フォーマット中に、本商品からUSBハードディスクを取り外さないでください。
- 本商品でフォーマットしたUSBハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
  他の機器に接続した場合は、録画したデータが壊れる可能性があります。

● キャンセル

USB ハードディスクのフォーマットを中止します。

4-5-4 USB ハードディスク省電力設定

本商品に接続している USB ハードディスクの省電力機能を設定します。設定を[有効]にすると、本商品がスタンバイ状態になっている間は、USB ハードディスクを省電力状態にします。

●[有効]

USB ハードディスク省電力機能を有効にします。

●[無効]

USB ハードディスク省電力機能を無効にします。

お知らせ

・USBハードディスク省電力設定の初期値は[無効]です。
・ご利用のUSBハードディスクによっては、この設定を有効にすると、正常に録画できなくなる場合があります。
・ご利用のUSBハードディスクによっては、この設定を有効にしても、省電力状態にならない場合があります。
・内部処理のため、自動的に省電力状態が解除される場合があります。

4-6 視聴・購入制限

本商品の視聴・購入制限に関する項目を設定します。

お知らせ

本画面の表示にはシークレットモードの設定()が必要です。
[視聴・購入制限]画面でリモコンの[シークレットキー]を押すか、[設定]画面右下の シークレット ()にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押して、シークレットモード暗証番号(初期値「0000」)を入力してください。(☞ p.46、76、98)

●[シークレットモード暗証番号]
　シークレットモードに使用する暗証番号を設定します。(☞ p.98)

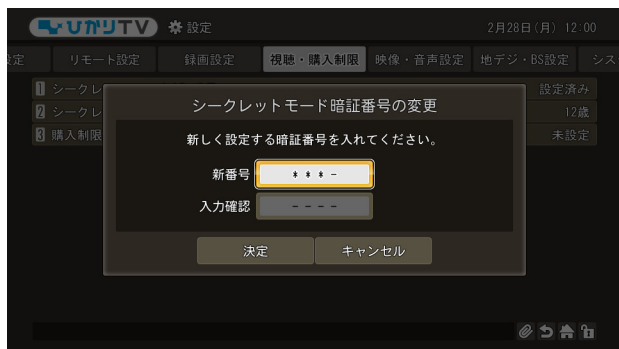
●[シークレットモード表示設定]
　シークレットモードの表示制限内容を設定します。(☞ p.99)

●[購入制限暗証番号]
　コンテンツ購入時の暗証番号を設定します。(☞ p.100)

4-6-1 シークレットモード暗証番号

シークレットモード暗証番号を設定します。

お知らせ

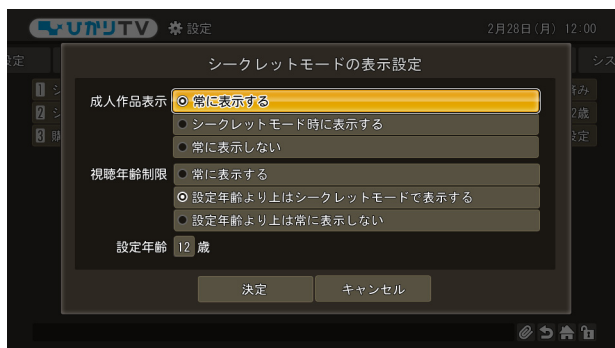
初期値は「0000」です。
安全性の観点からシークレットモード暗証番号を変更してください。

● [新番号]

シークレットモード暗証番号(数字 4 桁)をリモコンの[数字キー]で入力します。

● [入力確認]

[新番号]で入力した番号を確認するため、再度リモコンの[数字キー]で入力します。

4-6-2 シークレットモード表示設定

シークレットモードの表示制限内容を設定します。

●[成人作品表示]

成人向け作品の表示条件を設定します。

●[視聴年齢制限]

視聴年齢制限付き作品の表示条件を設定します。

●[設定年齢]

[視聴年齢制限]を有効にしたときに、基準となる年齢を設定します。

お知らせ

次のように設定したときは、視聴対象年齢が18歳以上のコンテンツはシークレットモード設定時のみに表示されます。

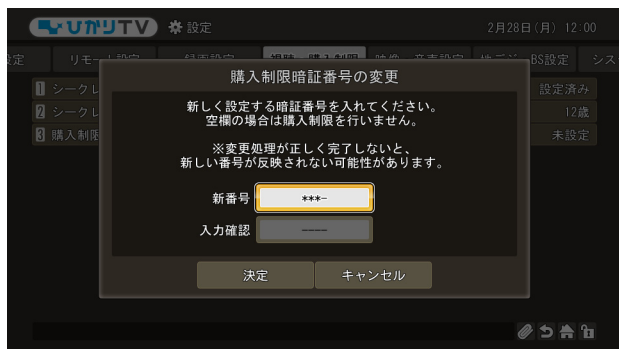
[視聴年齢制限] ＝ [設定年齢より上はシークレットモードで表示する]

[設定年齢] ＝ [17歳]

4-6-3 購入制限暗証番号設定

コンテンツ購入時の購入制限暗証番号を設定します。

お知らせ

初期値は空欄「----」（購入制限なし）です。
安全性の観点から購入制限暗証番号を設定してください。

●[新番号]

購入制限暗証番号(数字4桁)をリモコンの[数字キー]で入力します。

●[入力確認]

[新番号]で入力した番号を確認するため、再度リモコンの[数字キー]で入力します。

4-7 管理設定

本商品の回線登録情報の変更、または本商品の初期化を実行します。

お知らせ

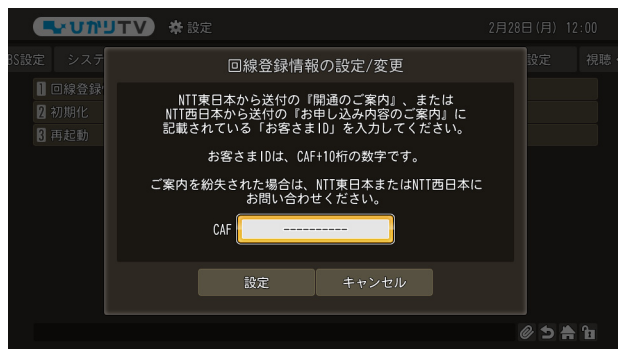
本画面の表示にはシークレットモードの設定( )が必要です。
[管理設定]画面でリモコンの[シークレットキー]を押すか、[設定]画面右下の シークレット ( )にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押して、シークレットモード暗証番号(初期値「0000」)を入力してください。
(p.46、76、98)

●[回線登録情報変更]
回線登録情報を変更します。(p. 102)

●[初期化]
本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時に戻します。(p. 103)

●[再起動]
本商品を再起動します。(p. 104)

4-7-1 回線登録情報変更

回線登録情報を設定します。
入力する回線情報は「3-1 初期設定」(☞ p. 62)をご参照ください。

(画面はフレッツ 光ネクストをご利用の場合を例としています)

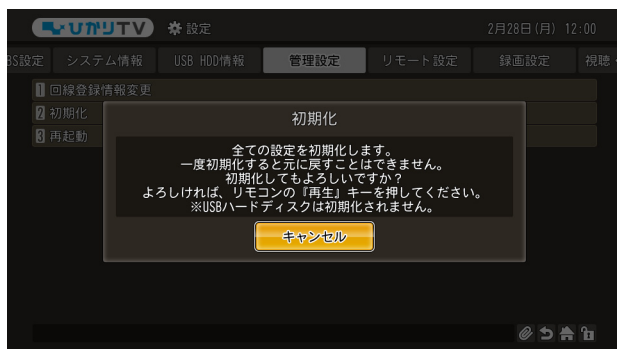
●[回線登録情報の設定/変更]
回線登録情報をリモコンの[数字キー]で入力します。

お知らせ
現在登録されている回線登録情報は、[設定]画面の[システム情報]から確認できます。(☞ p. 105)

4-7-2 初期化

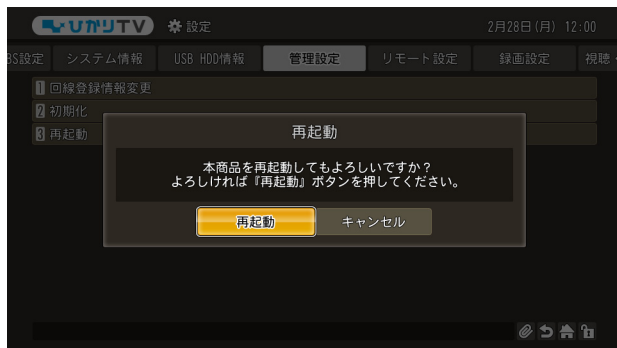
本商品の設定内容を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。
(p. 118)
リモコンの[再生キー]を押すと初期化を実行します。

お知らせ

- 初期化終了後、自動的に再起動します。
- USBハードディスクは初期化(フォーマット)されません。

● キャンセル

初期化を中止します。

4-7-3 再起動

本商品を再起動します。

●[再起動]

リモコンの[決定キー]を押すと本商品を再起動します。

4-8 システム情報

本商品のシステム情報を表示します。

●[STB]

STB名を表示します。

●[ファームウェア]

ファームウェアのバージョンを表示します。

●[IPv6アドレス]

IPv6アドレスを表示します。

●[IPv4アドレス]

IPv4アドレスを表示します。

●[DRM-ID(拡張用)]

拡張用 DRM-IDを表示します。

●[DRM-ID(IP放送用)]

IP放送用 DRM-IDを表示します。

●[回線登録情報]

回線登録情報を表示します。

●[MACアドレス]

MACアドレスを表示します。

4-9 USB HDD情報

本商品に接続しているUSBハードディスクから取得した情報を表示します。

●[メーカー]
USBハードディスクのメーカー情報を表示します。

●[型番]
USBハードディスクの型番を表示します。

●[全容量]
USBハードディスクの全容量を表示します。

●[残容量（目安）]
USBハードディスクの残容量を表示します。

●[利用率（目安）]
USBハードディスクの利用率を表示します。

●[録画目安時間 ひかりTV HD画質]
テレビサービス(HD画質番組)の録画可能な時間を表示します。

●[録画目安時間 ひかりTV SD画質]
テレビサービス(SD画質番組)の録画可能な時間を表示します。

●[録画目安時間 地デジ]
地上デジタル放送の録画可能な時間を表示します。

●[録画目安時間 ＢＳ]
BSデジタル放送の録画可能な時間を表示します。

●[全録画タイトル数]
録画番組のタイトル数を表示します。

お知らせ

・[録画目安時間]は、テレビサービス/地上デジタル放送/BSデジタル放送の番組を録画した場合の目安です。
実際の録画時間とは異なる場合があります。
・[録画目安時間 地デジ]の表示は、お客様が当該サービスをご利用できる場合のみ表示されます。

4-10 リモート設定

リモートサービスに関する項目を設定します。

●[リモート接続設定]

リモートサービスに接続するための情報を表示します。
(☞ p. 109)

●[リモート接続確認・解除]

本商品にリモート接続設定されたユーザーの一覧表示および、接続を解除します。(☞ p. 110)

●[リモート予約同期設定]

リモート予約サーバーとの同期を設定します。(☞ p. 111)

●[りもこんプラス機能設定]

りもこんプラス機能の有効/無効を設定します。(☞ p. 112)

4-10-1 リモート接続設定

リモートサービスに接続するための情報を表示します。

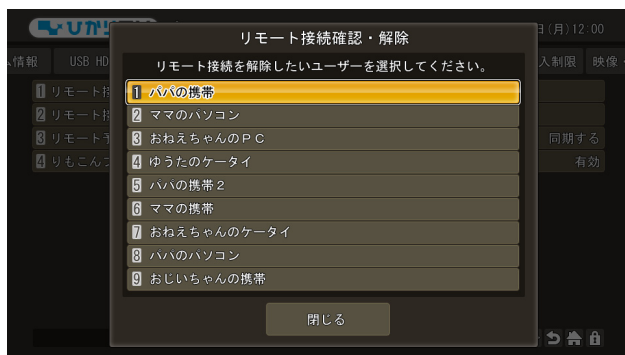
お知らせ

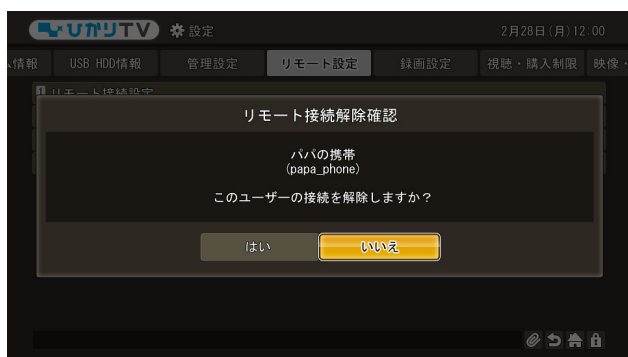
表示内容は変更される場合があります。実際の画面を参照してください。

●[リモート接続設定]

接続設定を行うサイトおよび、接続パスコードが表示されます。

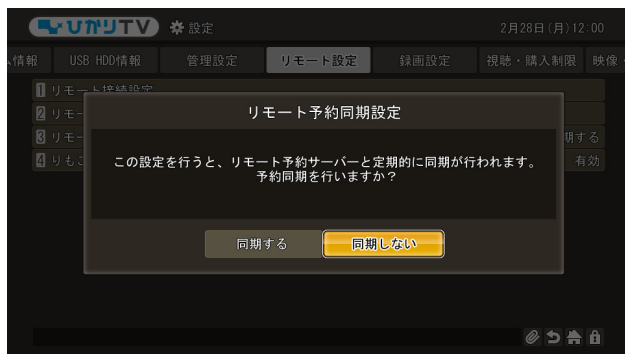
4-10-2 リモート接続確認・解除

本商品にリモート接続設定されたユーザーの一覧を表示します。

●[リモート接続確認・解除]

一覧において、接続を解除したいユーザーにカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押すと、[接続解除確認]画面が表示されます。

4-10-3 リモート予約同期設定

リモート予約サーバーとの同期を設定します。

お知らせ

本設定を行うためには、リモート接続設定を行い(☞ p.109)、少なくとも1人のユーザが登録されている必要があります。

● [同期する]

リモート予約サーバーと予約情報を同期します。

● [同期しない]

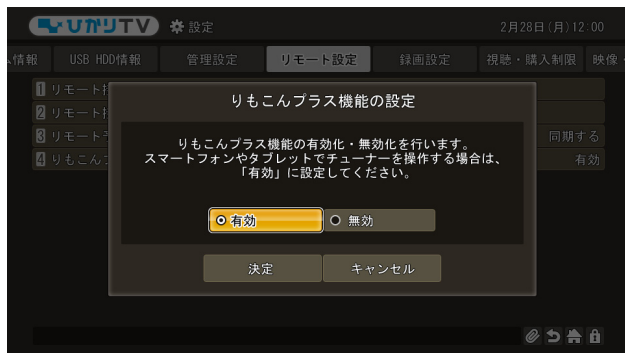
リモート予約サーバーと予約情報を同期しません。

4-10-4 りもこんプラス機能設定

りもこんプラス機能の有効/無効を設定します。

●[有効]

りもこんプラス機能を有効にします。

●[無効]

りもこんプラス機能を無効にします。

お知らせ

りもこんプラス機能設定の初期値は[有効]です。

5 付 録

5-1 故障かなと思ったら

本商品が動作しないなどでお困りのときは、まず次の点を確認してください。

これらの点を確認しても本商品が正しく動作しない場合は、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

現象:まったく動作しない

原因 : 本商品に電気が供給されていません。

対処 : 本商品と AC アダプタが正しく差し込まれているか確認してください。(☞ p. 34)

対処 : 本商品の主電源が入っていることを確認してください。(☞ p. 38)

対処 : AC アダプタが、本商品のものであることを確認してください。

原因 : 本商品が壊れている。

対処 : ステータスランプおよび、予約/お知らせランプが交互に桃色点滅している場合は、本商品が故障している可能性があります。映像配信サービス会社にご相談ください。

現象:画面が表示されない

原因 : 本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処 : 周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p. 23)

対処 : 接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p. 23)

対処 : ネットワーク接続機器の LINK ランプなどを確認してください。

原因 : 本商品の主電源が入っていない。

対処 : 電源スイッチを押して、主電源を入れてください。(☞ p. 38)

原因 : 本商品がスタンバイ状態になっている。

対処 : ステータスランプが赤色に点灯している場合は、本商品はスタンバイ状態です。リモコンの[STB 電源キー]を押して、スタンバイを解除してください。(☞ p. 42)

原因 : テレビの外部入力の選択が間違っている。

対処 : 接続しているテレビの外部入力の選択を確認してください。

現象：ホーム画面が表示されない

原因：サーバとの通信でエラーが発生している。

対処：ステータスランプが桃色に点滅し続けている場合は、サーバとの通信でエラーが発生しております。本商品とネットワーク接続機器の接続を確認し、本商品の主電源を切って、再度、主電源を入れてください。（☞ p.17、23、38）

原因：サービスの申し込みが完了していない。

対処：フレッツ 光ネクスト、NTT 東日本の「Ｂフレッツ」、NTT 西日本の「フレッツ・光プレミアム」または「Ｂフレッツとフレッツ・v6 アプリ」のお申し込みが完了しているかご確認ください。（☞ p.66）

対処：映像配信サービスのお申し込みが完了しているかご確認ください。

原因：現在のお申し込み内容では映像配信サービスが利用できない。

対処：お申し込み内容をご確認ください。

現象：画面が暗い

原因：本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処：周辺機器と正しく接続されているか確認してください。（☞ p.23）

対処：接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。（☞ p.23）

現象：リモコンから操作できない

原因：リモコンの電池が消耗している。

対処：電池を交換してください。

原因：リモコンの送信範囲外で操作している

対処：送信範囲内で操作してください。（☞ p.41）
また、リモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。

現象：リモコンでの操作が効かない / 3 分以上放置しても画面が動かない

原因：本商品で異常が発生しています。

対処：本商品の主電源を切って、再度、主電源を入れてください。（☞ p.38）

現象：日本語と英語が同時に聞こえる / 英語しか聞こえない

原因：音声の出力方法が正しく設定されていません。

対処：設定が正しいか確認してください。(☞ p.81)

現象：音声がステレオで聞こえない

原因：本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処：周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p.23)

対処：接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p.23)

現象：音声が聞こえない

原因：音声の出力方法が正しく設定されていません。

対処：リモコンの[テレビ消音キー]が押されていないか確認してください。(☞ p.58)

原因：本商品と周辺機器が正しく接続されていません。

対処：周辺機器と正しく接続されているか確認してください。(☞ p.23)

対処：接続している端子や、接続の向きが正しいか確認してください。(☞ p.23)

現象：「番号が違います」などと表示される

原因：暗証番号などを確認してください。

対処：暗証番号を忘れた場合は、初期化して再度設定いただくか、映像配信サービス会社へお問い合わせください。

現象：映像コンテンツの視聴時に何も表示されない / 視聴時の画像が乱れる

原因：ご利用の環境や回線の状況によっては、まれに画像が乱れる場合があります。

対処：本商品の主電源を切って、ネットワーク接続機器を再起動し、再度、本商品の主電源を入れてください。それでも解消しない場合は、映像配信サービス会社にお問い合わせください。

現象：HDMI 接続で映像が映らない / 正常な映像が映らない

原因：本商品の主電源を入れた後に、テレビの電源を入れた。
対処：本商品の主電源を切った後、再度、主電源を入れてください。

原因：本商品の主電源を入れた状態で、HDMI 端子ケーブルを抜き差しした。
対処：本商品の主電源を切って、HDMI 端子ケーブルを接続し直し、再度、本商品の主電源を入れてください。

原因：DVI デジタル入力端子に接続した。
対処：HDMI 入力端子と接続してください。(☞ p.28)

現象：USB ハードディスクに録画できない

原因：正しく接続されていない。
対処：本商品と USB ハードディスクとの接続を確認してください。(☞ p.35)

原因：正しく認証されていない。
対処：[USB HDD 情報]画面で認証されていることを確認してください。(☞ p.106)

現象：USB ハードディスクに録画した番組が再生できない

原因：USB ハードディスクに録画した番組のデータが壊れている。
対処：お客様のご利用環境を確認ください。
USB ハードディスクを使用中に以下の原因などでデータが壊れる場合があります。

- USB ハードディスクが故障した
- ネットワークに異常が発生した
- USB ハードディスクへのアクセス中に、本商品の主電源を切った
- USB ハードディスクへのアクセス中に、USB ケーブルを抜去した、または、USB ハードディスクの電源を切った

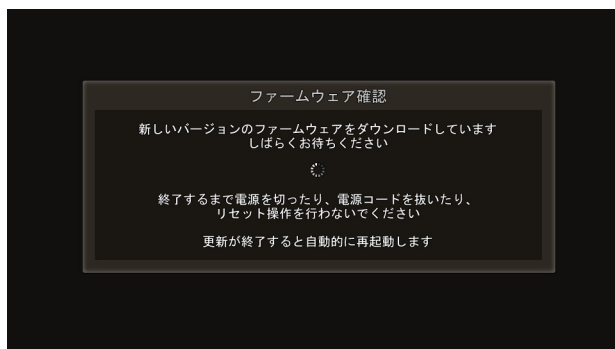
5-2 ファームウェア更新について

本商品は自動的にファームウェアを更新します。
新しいファームウェアがあるときは次のタイミングで更新されます。

- 主電源を入れたとき
- スタンバイ状態にした直後
- スタンバイ状態で、1日1回の定期更新の時間になったとき

お知らせ

1日1回の定期更新の時間にスタンバイ状態になっていない場合は、更新されません。

ファームウェア更新時は次の画面が表示されます。

更新が終わると、自動的に再起動します。

注意

ステータスランプが点滅状態(緑/赤/橙色)のときには、主電源を切らないでください。本商品が正常に起動しなくなる恐れがあります。

お知らせ

ファームウェア更新中には、本商品の状態に応じてステータスランプが点滅(緑/赤/橙色)します。
ファームウェア更新は数分かかる場合があります。

5-3 本商品を初期化する

本商品に設定された情報を消去し、工場出荷時の状態に戻します。

⚠ 注意
本商品は、お客様固有のデータを登録、または保持する商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがあります。 本商品を返却などされる際には、本商品のデータは必ず消去してください。

1 [設定]画面を表示します。

[設定]画面の概要(☞ p. 74)

2 メニューの[管理設定]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。

[管理設定]画面が表示されます。

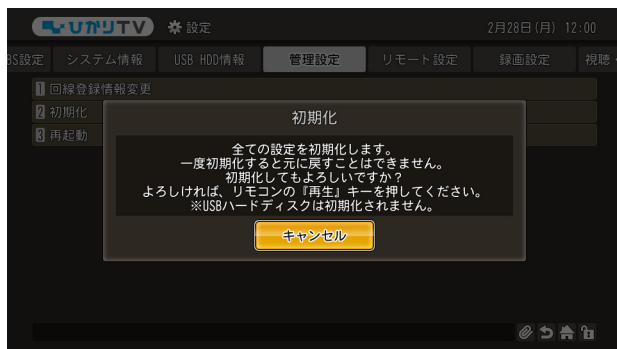
お知らせ

・本画面の表示にはシークレットモードが設定()されている必要があります。(☞ p. 46)

・初期化終了後、自動的に再起動します。

・USBハードディスクは初期化(フォーマット)されません。

3 **メニューの[初期化]にカーソルを合わせ、リモコンの[決定キー]を押します。**

[初期化]画面が表示されます。

4 **リモコンの[再生/一時停止キー]を押します。**

初期化が始まり、本商品が再起動します。
再起動が終了すると、初期画面に戻り初期化が終了します。

5-4 仕様一覧

Picture Mate 700

項 目		仕 様
LANインタフェース	ポート数	1ポート RJ45コネクタ(LAN)
	準拠規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX)
	データ伝送方式	10Mbit/s/100Mbit/s・全二重/半二重 自動認識
	MDI/MDI-X	自動認識
USBインタフェース		2ポート USB 2.0
映像出力(NTSC)		1ポート RCAピンジャックコンポジット端子
映像出力(S2映像)		1ポート Y/Cコネクタ
映像出力(D3)		1ポート D端子(14pinリセプタクル)
映像出力(HDMI)		1ポート HDMI端子
音声出力(左右)		1ポート RCAピンジャック
音声出力(光デジタル)		1ポート S/PDIF端子
外形寸法(mm)		約 200(W)×35(H)×162(D) (突起部、縦置台含まず)
筐体設置方法		縦置き、横置き可能
質 量		約 600g
一般財団法人 VCCI協会		クラスB情報技術装置
電 源		外付専用ACアダプタによる
定格入力電圧・電流		DC12V/2A
消費電力		24W以下(USB含む)
動作温度・湿度		5℃～40℃、5%～85% (結露なきこと)

端末仕様:映像・音声復号化機能

項目		仕様
映像符号化方式		ISO/IEC 13818-2(MPEG-2)
		ISO/IEC 14496-10 (MPEG-4 Part10 Advanced Video Coding/ ITU-T Rec. H.264)
音声符号化方式		ISO/IEC 11172-3(MPEG-1 Layer ⅠおよびⅡ)
		ISO/IEC 13818-7(MPEG-2 AAC-LC)
		ISO/IEC 14496-3、 Subpart 4(MPEG-4 AAC-LC)
多重分離	多重方式	ISO/IEC 13818-1
	ストリームタイプ	トランスポートストリーム(TS/TTS)

端末仕様:ストリーミング機能

項目	仕様
伝送プロトコル	RTP(RFC 1889)
	RTCP(RFC 1890)
VODストリーミング制御プロトコル	RTSP(RFC 2326)
ストリーミングデータ受信方式	VOD:ユニキャスト受信
	テレビ放送:マルチキャスト受信(MLDv2)

端末仕様:パケットロス補償機能

項目	仕様
パケット欠損回復方式	ProMPEG COP3 1D

AC アダプタ

項目	仕様
外形寸法(mm)	約 51(W) x 28(H) x 89(D)
重 量	約 200g
電 源	AC100V±10V(50/60Hz) 差込プラグはJIS C 8303に規定された普通型2極に対応。 JWDS0028に規定するレベルⅡの耐トラッキング性能を満たす。
出力電圧	DC12V
安全性	電気用品安全法認可品

5-5 用語集

A～Z

AAC(Advanced Audio Coding)

映像符号化方式MPEG-2で使われる音声信号の圧縮方式。
CS、BS デジタル放送や地上デジタル放送で利用されている。
最大48chまでの音声チャンネル数に対応している。

bit/s(bit per second)

データ伝送速度の単位。一秒間に伝送されるビット数。
「bps」と表示されることもある。

D端子

ビデオ機器を接続するために作られた日本独自の規格。
コンポーネント映像信号(Y/Cb/Crなど)を1本のケーブルで接続できるように端子を1つにまとめたもの。コネクタの形状がD型をしていることから「D端子」と呼ばれる。
内部の信号はアナログ信号である。

Ethernet(イーサネット)

米国XEROX社によって開発されたLANの通信方式。
IEEE802.3 で規定された CSMA/CD 方式と同等な通信手段。使用するケーブルやリンク速度によって「10BASE-T」「100BASE-TX」という呼び方もある。常時双方向の通信が可能な「全二重」と、送信と受信を交互に切り換える「半二重」がある。

FEC (Forward Error Correction)

順方向の欠損補償方式。

H.264

携帯機器からHDTV(high definition television)までカバーする高圧縮効率の動画圧縮技術。MPEG-2やMPEG-4などよりも高い圧縮率を実現する。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)

パソコンディスプレイの接続標準規格であるDVIに、音声伝送機能・著作権保護機能・色差伝送機能を加えられたAV家電向けの規格。
非圧縮デジタル音声・映像を伝達し、高品質の画質、音声とも劣化はしない。HDMI ではフルスペックハイビジョン(フルHD、解像度水平1920×垂直1080画素)の機能を基本としている。
制御信号も送ることができるので、各AV家電間の連携が簡単にできる。

IPアドレス

TCP/IPを使ったネットワーク上に接続されたコンピュータなどを識別するためのアドレス。

LAN(Local Area Network)

会社、組織、学校、工場、ビル、フロアなど、ある限定された範囲に敷設されたコンピュータ通信のためのネットワーク。距離、伝送路、トポロジ、プロトコルの明確な定義はないが、一般的には伝送距離が数m～数十km、リンク速度は1M～数Gbit/s程度である。
ケーブルや無線などの伝送媒体を複数のコンピュータで共用し、互いに独立した通信を実行できる。

MPEG-2

MPEGのうち、高画質、高レートの用途を目的に作られたフォーマット。
MPEG-1がVHSクラスの352x240の解像度を基本としているのに対し、MPEG-2はそれ以上の解像度、高レートでの動画の扱いが規定されている。

PCM(Pulse Code Modulation)

音声などのアナログ信号をデジタル信号へ変換する方式の1つ。
音楽CDなどで利用されている。
音声チャンネル数はステレオ(2ch)が一般的である。

S端子(Separate端子)

テレビ受像機やビデオテープレコーダで用いられる、映像信号の入出力用コネクタの規格。
NTSCなどのコンポジット映像信号を輝度信号(同期信号も重畳)と色信号の2系統に分離(Separate)して伝送する。

USB(Universal Serial Bus)

コンピュータのインタフェース規格の1つ。コンピュータに周辺機器を接続するためのシリアルバス規格。

USB機器

USB規格のインタフェースを有する周辺機器の総称。

[あ]～[お]

インターネット

世界中に張り巡らされたコンピュータ通信のための通信網。

[さ]～[そ]

自動認識(オートネゴシエーション)

Ethernetの10Mbps/100Mbps のリンク速度と、全二重/半二重の設定およびMDI/MDI-Xの設定を自動的に選択する機能。

ストリーミング

主に音声や動画などのマルチメディアデータを再生する方式の一種。動画などの大きいサイズのデータを再生する際に、データ転送開始とほぼ同時に再生を開始することにより、待ち時間を大幅に短縮することが可能となる。

[な]～[の]

ネットワーク接続機器

データ中継装置の 1 つで、プロトコルに依存して、ネットワークアドレスに基づいてデータ中継を行う装置。プロトコルごとに決められているある手順に従ってネットワークの経路を学習し、最適な経路を使った中継を行うことができる。

[は]～[ほ]

パケット欠損回復機能

中継装置やネットワーク接続機器で廃棄された IP パケットを復元させる技術で、高品質な映像配信サービスには不可欠。映像配信サービスでは、欠損したパケットの再送を行うことができないため、FEC (Forward Error Correction)によりパケット欠損の補償を行う。

ファームウェア

本商品を動作させるためのソフトウェア。本商品ではフラッシュメモリに搭載されている。

ファームウェア更新

ファームウェアを最新のものに変更すること。

フラッシュメモリ

電源を切っても内容を保持しておけるメモリチップ。

[ま]～[も]

文字スーパー

デジタル放送で視聴者へお知らせしたい情報を番組視聴中の画面上に文字で表示する機能。

5-6 索 引

映像配信サービスの利用.......62
各部名称.....................16
　D出力端子.................18
　HDMI出力端子..............18
　Sビデオ出力端子...........18
　USBポート.................16
　映像出力端子...............18
　ステータスランプ.......16、17
　ステレオ音声 出力端子......18
　電源スイッチ...............16
　電源端子...................18
　ネットワーク接続ポート.....18
　光デジタル 音声出力端子....18
　予約/お知らせランプ....16、17
　リモコン受光部.............16
画 面
　USB HDD情報..............106
　USBハードディスク
　　省電力設定.............96
　USBハードディスク
　　接続設定...............93
　USBハードディスク
　　取り外し...............94
　USBハードディスク
　　フォーマット...........95
　映像・音声設定.............80
　音声字幕設定...............81
　回線登録情報変更..........102
　画面の概要.................74
　管理設定..................101
　共通操作...................76
　県域設定...................86
　購入制限暗証番号設定.....100
　再起動..................104
　シークレットモード
　　暗証番号..............98
　シークレットモード
　　表示設定..............99
　システム情報............105
　視聴・購入制限............97
　初期化..................103
　操作確認音設定............83
　地域設定..................85
　地デジ・BS設定...........84
　地デジのチャンネル設定....88
　デジタル音声出力設定......82
　ネットワーク設定..........89
　メニュー一覧..............77
　文字スーパー..............90
　郵便番号設定..............87
　リモート接続確認・解除...110
　リモート接続設定.........109
　リモート設定............108
　リモート予約同期設定.....111
　りもこんプラス機能設定...112
　録画設定..................91
故障かなと思ったら.........113
ご注意...................11、14
主電源.....................38
仕 様.....................120
初期化....................118

接 続 23
USB ハードディスクの接続 ...35
周辺機器の接続.............26
全体構成..................24
設 置 20
縦置き....................21
横置き....................20
初期設定....................62
操作の流れ..................19
地上デジタル放送/
BS デジタル放送の設定...68
特 長 10
パッケージの内容.............15
ファームウェア更新..........117
本商品の設定................74
用語集.....................122
リモコン....................40
カラオケサービスを見る.....54
サービス画面の操作.........46
接続したテレビの操作.......58
操作方法..................42
送信範囲..................41
地上デジタル放送/
BS デジタル放送を見る ...48
テレビサービスを見る.......50
テレビ設定................60
電池の挿入................40
ビデオサービスを見る.......52
録画する/
録画番組を再生する 56